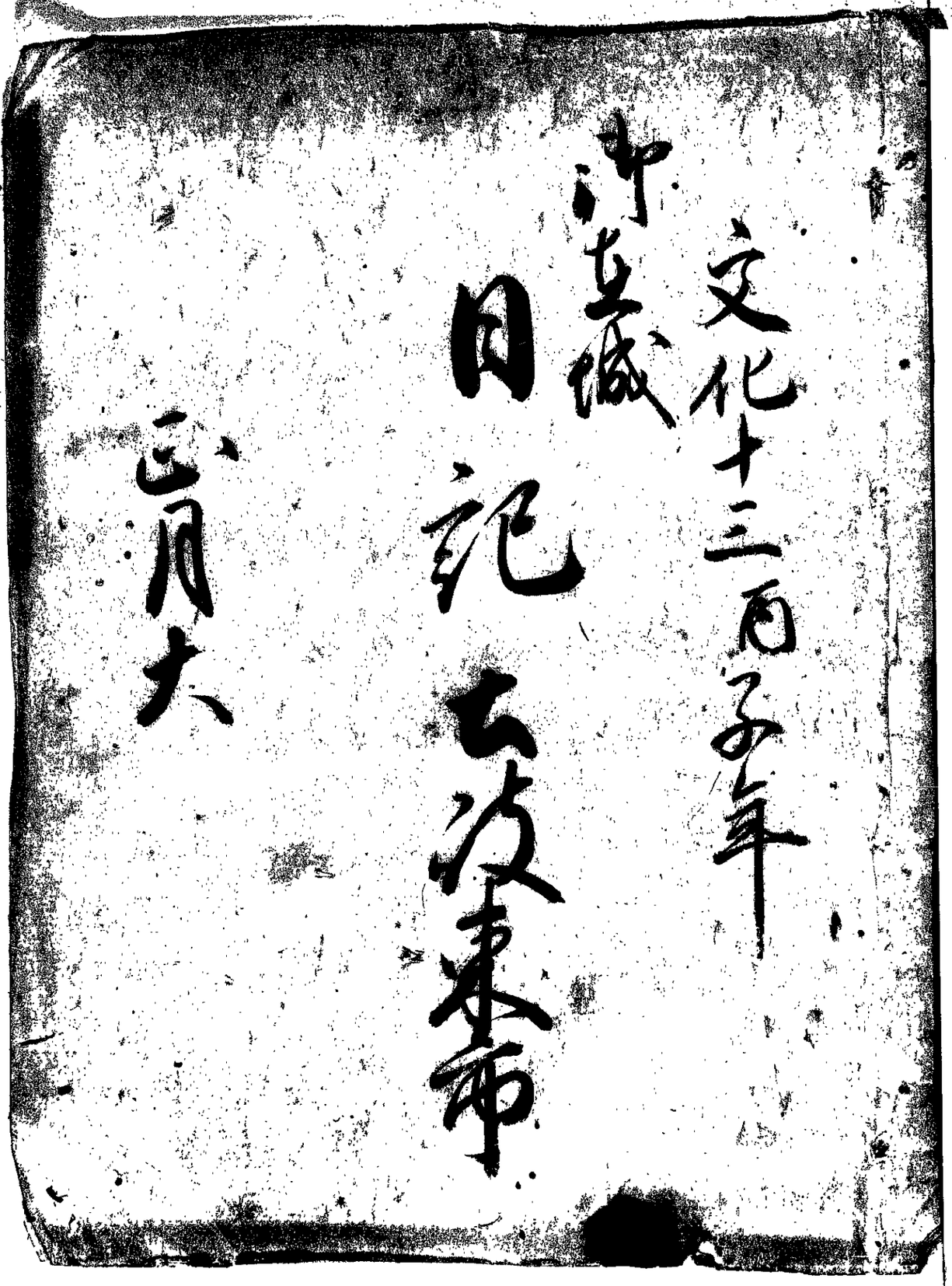
出石藩

御用部屋日記

文化 十三 年 一 月

出石町公民館蔵



大清

七日

一 [illegible]

一 [illegible]

九日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

十日

十二日
十三日
十四日

十六日

一

右之外相知之者

一

右未決之間依違

一

十八日

一

御用出来

一

評議之趣御聞届之

一

評議之趣御同意之

一

評議之趣御尤之

一

右之通御納得之

一

大意御同意之

一

右之外未熟無之

一

右之通評議

一

評議之趣御尤之

一

評議之趣御同意之

一

評議之趣御聞届之

一

右之外相知之者

一

右未決之間依違

一

評議之趣御聞届之

一

評議之趣御同意之

一

評議之趣御尤之

一

右之通御納得之

一

大意御同意之

一

右之外未熟無之

一

右之通評議

十九日

廿七日

一

一

廿八日

一

一

廿九日

一

一

卅日

一

一

御武具役へ

元禄七年

捕手状
和泉光

一白廷
一書籍
一納屋
一蔵雲
一手車

右之
一硯箱
一蓬籍
一西籍
一机屋

右之

一雲霞

右之

一東西南北
一絵本壱冊

右之

大古来、捕手状之儀
慶長廿年七月廿四日

仏名捕手被
仰付候ニ付
御免被成

信成
朱判

出石藩

御用部屋日記

文化十三年　二月

出石町公民館蔵

文化十三丙子年

御在城

日記

二月大

竹村十紫

火消

喧嘩口論

仕方

場所

取扱

手数

入用

出入

訴訟

公事

裁許

和談

内済

済口

済状

済帳

済証文

済手形

済金

済物

済口証文

済口手形

済口金

済口物

済口状

済口帳

済口証

済口手

済口金子

済口物子

済口状子

済口帳子

済口証子

済口手子

済口金銀

済口物銀

済口状銀

済口帳銀

済口証銀

済口手銀

済口金銭

済口物銭

済口状銭

済口帳銭

済口証銭

済口手銭

済口金米

済口物米

済口状米

済口帳米

済口証米

済口手米

済口金麦

済口物麦

済口状麦

済口帳麦

済口証麦

済口手麦

済口金豆

済口物豆

済口状豆

済口帳豆

済口証豆

済口手豆

済口金塩

済口物塩

済口状塩

済口帳塩

済口証塩

済口手塩

済口金油

済口物油

済口状油

済口帳油

済口証油

済口手油

済口金酒

済口物酒

済口状酒

済口帳酒

済口証酒

済口手酒

済口金醤油

済口物醤油

済口状醤油

済口帳醤油

済口証醤油

済口手醤油

済口金味噌

済口物味噌

済口状味噌

済口帳味噌

済口証味噌

済口手味噌

済口金酢

済口物酢

済口状酢

済口帳酢

済口証酢

済口手酢

済口金醤

済口物醤

済口状醤

済口帳醤

済口証醤

済口手醤

済口金酢醤

済口物酢醤

済口状酢醤

済口帳酢醤

済口証酢醤

済口手酢醤

済口金醤酢

済口物醤酢

済口状醤酢

済口帳醤酢

済口証醤酢

済口手醤酢

済口金酢醤油

済口物酢醤油

済口状酢醤油

済口帳酢醤油

済口証酢醤油

済口手酢醤油

済口金醤油酢

済口物醤油酢

済口状醤油酢

済口帳醤油酢

済口証醤油酢

済口手醤油酢

済口金味噌醤油

済口物味噌醤油

済口状味噌醤油

済口帳味噌醤油

済口証味噌醤油

済口手味噌醤油

済口金醤油味噌

済口物醤油味噌

済口状醤油味噌

済口帳醤油味噌

済口証醤油味噌

済口手醤油味噌

済口金酢味噌

済口物酢味噌

済口状酢味噌

済口帳酢味噌

済口証酢味噌

済口手酢味噌

済口金味噌酢

済口物味噌酢

済口状味噌酢

済口帳味噌酢

済口証味噌酢

済口手味噌酢

済口金酢醤油味噌

済口物酢醤油味噌

済口状酢醤油味噌

済口帳酢醤油味噌

済口証酢醤油味噌

済口手酢醤油味噌

済口金味噌醤油酢

済口物味噌醤油酢

済口状味噌醤油酢

済口帳味噌醤油酢

済口証味噌醤油酢

済口手味噌醤油酢

済口金醤油酢味噌

済口物醤油酢味噌

済口状醤油酢味噌

済口帳醤油酢味噌

済口証醤油酢味噌

済口手醤油酢味噌

済口金味噌酢醤油

済口物味噌酢醤油

済口状味噌酢醤油

済口帳味噌酢醤油

済口証味噌酢醤油

済口手味噌酢醤油

済口金醤油味噌酢

済口物醤油味噌酢

済口状醤油味噌酢

済口帳醤油味噌酢

済口証醤油味噌酢

済口手醤油味噌酢

済口金酢味噌醤油

済口物酢味噌醤油

済口状酢味噌醤油

済口帳酢味噌醤油

済口証酢味噌醤油

済口手酢味噌醤油

文化十二亥年二月

九百

一例到会在四等级之例减一
一 给纸每会在之后

十一日

十一日

十四日

一御引出仕候事被仰付候人何も被遊候

一門番所

右者 御城四ツ太鼓ニ 御出 御通之 御門見

右者 御城四ツ太鼓ニ 御出 御通之 御門見

一御中食 御給之儀ハ 御出之節ハ 御通之

表

一門番所 御給之儀ハ 御出之節ハ 御通之

一門番所 御給之儀ハ 御出之節ハ 御通之

杉原延介
宮田源吉郎
佐村宗助郎
御見不遣

下男

明廿一日 御出 御通之 御門見

右之通被仰渡候 以上

九月廿日

十五日

但 [illegible] 大和二十三年
大相院権二面忘 [illegible] 黄栄
有 [illegible] 財之物之数
[illegible] 福七面忘 [illegible]
[illegible] 黄和 [illegible]
[illegible] 貞 [illegible]
[illegible] 黄和 [illegible]
[illegible] 面忘 [illegible]

[illegible]
中間

[illegible] 二月

[illegible] 二月 [illegible] 年
[illegible] 時 [illegible]
[illegible] 通
[illegible] 渉事 [illegible]
[illegible] 渉 [illegible]
[illegible] 渉 [illegible]
[illegible] 渉 [illegible]

[illegible] 渉 [illegible]
[illegible] 渉 [illegible]
[illegible] 渉 [illegible]

十二月十八日　行名

十七日

一 御到生仕半書候之御
一 四時 許通之 許免候御
許通之 許免候御
許免候之 許免候御
（許通免候之
大般若 許御免候
大般若 許免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
一 本入候 法橋 許 法橋 許
許者 許御
一 御到生仕半書候之御
一 四時 許通之 許免候御
許通之 許免候御
許免候之 許免候御
（許通免候之
大般若 許御免候
大般若 許免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
免候 許御
一 本入候 法橋 許 法橋 許
許者 許御

許者 許御
一 御到生仕半書候之御
一 四時 許通之 許免候御
許通之 許免候御
許免候之 許免候御
（許通免候之
大般若 許御免候
大般若 許免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
免候 許御
一 本入候 法橋 許 法橋 許
許者 許御

許者 許御
一 御到生仕半書候之御
一 四時 許通之 許免候御
許通之 許免候御
許免候之 許免候御
（許通免候之
大般若 許御免候
大般若 許免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
免候 許御
一 本入候 法橋 許 法橋 許
許者 許御

許者 許御
一 御到生仕半書候之御
一 四時 許通之 許免候御
許通之 許免候御
許免候之 許免候御
（許通免候之
大般若 許御免候
大般若 許免候 許御
一 大般若 許御免候 許御
免候 許御
一 本入候 法橋 許 法橋 許
許者 許御

一 畠弐畝一歩之内
（但正金
（畑代 金弐両
右之畠、何方ゟ成共、買人ゟ代金
相渡し候迄、売人ゟ致
一 右畠ニ付、書面ニ相違
（但文化二丑年ゟ
（畑ニ成候ニ付、
（畑手形 弐枚
（畠壱枚
一 畑手形 弐枚
（畠壱枚
（但、畑ニ成候ニ付、
（畑手形ニ
右畠、何方ゟ成共、買人ゟ
相渡し候迄、売人ゟ
一 右畠ニ付、書面ニ

十八日

一 仰到出仕當番之人何成通
　 御酒宅へ出仕為知可申事
一 御定日
　 御酒宅へ出仕為知可申事
一 馬廻年始

文化十二乙亥年二月廿七日　弥平九ツ半過

一　沖用船之儀ハ一切不差免
　　候事

一　大風強雨等ニ而不得已入津
　　候節ハ相応之賃銀可遣候事

一　主従共年中之休暇ハ石
　　津問屋之内ニ而相談之上
　　定之外ハ沖用船ニ而
　　可罷帰
　　但シ病気等ニ而長引候節ハ
　　津問屋之内ニ而相談之上
　　可取計候

右之通相定候上ハ
南ノ方ニ而ハ
（尼ヵ）
（京ヵ）
　　決而
　　不差免
　　候

右小性子頼合相定候上ハ
沖用船ニ而ハ
　　決而
　　不差免
　　候

右之通相定候上ハ
名代ニ而ハ
　　決而
　　不差免
　　候

右小性子頼合相定候上ハ
沖用船ニ而ハ
　　決而
　　不差免
　　候

右之通相定候上ハ
名代ニ而ハ
　　決而
　　不差免
　　候

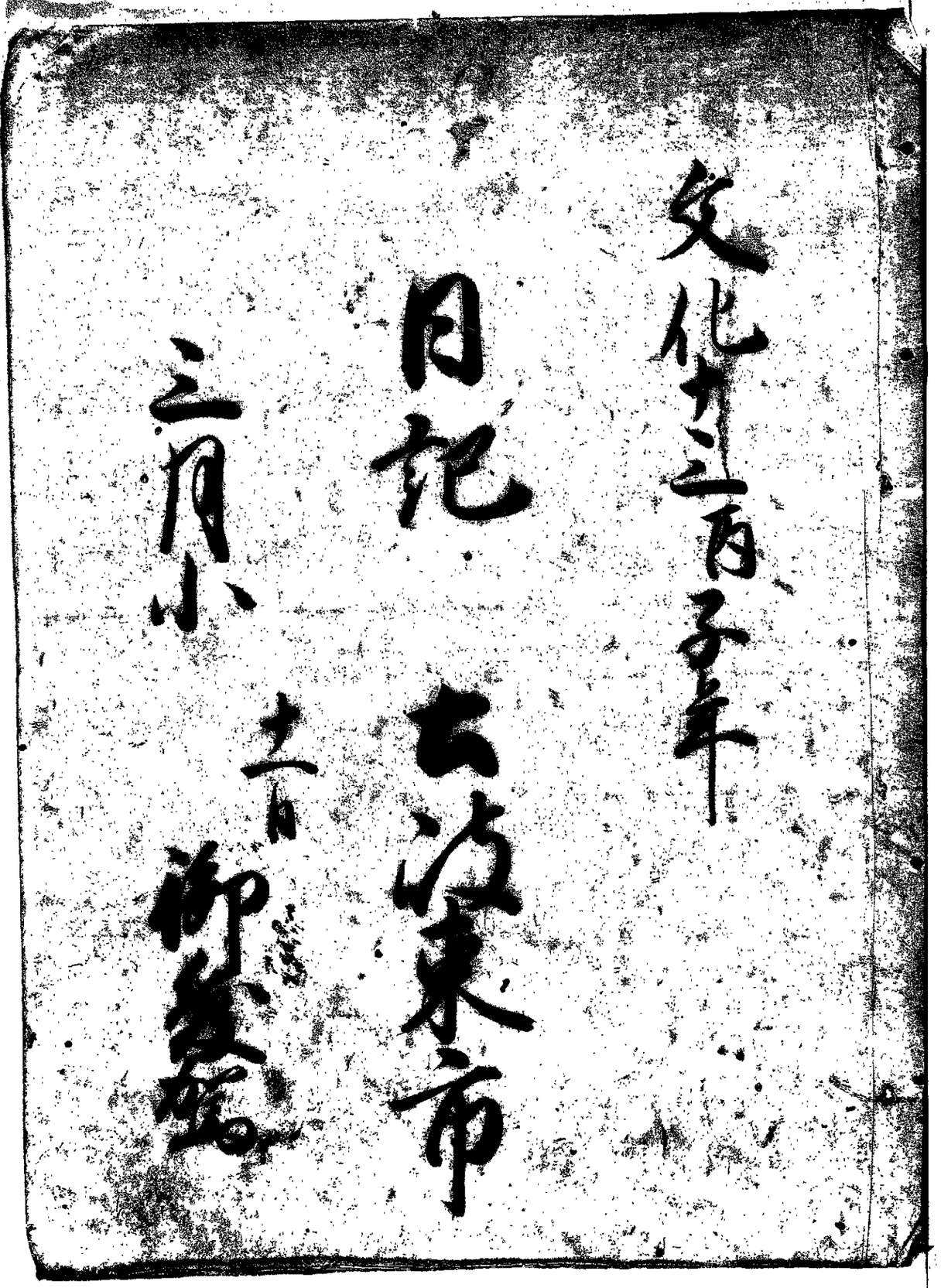
右之通相定候上ハ
名代ニ而ハ
　　決而
　　不差免
　　候

右小性子頼合相定候上ハ
沖用船

保

经王寺

地方役小役



出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 三 月

出石
兵庫県立公文書館蔵

大消

一 宗門改之事

一 毛吹草後編ニ載ル所之外新ニ出来之名物有之ハ書上ル可申事

一 諸寺院之由緒書上ル可申事

一 諸寺院之本末帳面ニ無之寺院ハ勿論庵室等ニ至迄書上ル可申事

一 諸寺院之住持代替ニ而本寺ニ不届之儀有之ハ可訴出事

一 諸寺院之住持代替ニ而本寺ニ不届之儀有之ハ可訴出事

一 諸寺院之本末ニ而無之寺院ハ勿論庵室等ニ至迄書上ル可申事

一 諸寺院之由緒書上ル可申事

一 宗門改之事

一 諸寺院之住持代替ニ而本寺ニ不届之儀有之ハ可訴出事

一 諸寺院之本末帳面ニ無之寺院ハ勿論庵室等ニ至迄書上ル可申事

一 諸寺院之由緒書上ル可申事

一 宗門改之事

一 諸寺院之住持代替ニ而本寺ニ不届之儀有之ハ可訴出事

一 諸寺院之本末帳面ニ無之寺院ハ勿論庵室等ニ至迄書上ル可申事

一 諸寺院之由緒書上ル可申事

一 宗門改之事

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

同廿六日条
同廿七日条
同廿九日条

太田忠雄
天谷留吉

同廿六日条
同廿七日条
同廿九日条

太田忠雄
天谷留吉

四月五日

一 御到来仕候書状之内御用向
　 御代替
　 竹村十学

一 小性衆

種物有之候ハヽ御差越可被下候
之由申来候間右之種物御差越
被下候様申遣候而仕合ニ御座候
竹村喜庵

年ヲ為ス但一級仕奉減
長門流門弟　七拾人遊
一級ヲ
加ヘ数七十人
別ヲ為ス
一拾九年ヲ為ス○六家

● 吉田左仲

一再大書院ヘ　神田ヨリ遊
神慶ヨリ遊年ヲ為ス但一級仕奉減為ス入
荘田流門弟
数三十人
中ヲ九

二荘ヲ為ス人但惣ヘ

一拾九年ヲ為ス○六家

▲ 吉田左仲

一新丸大書院ヘ　神田ヨリ遊
御ヲ為ス但一級仕奉減為ス入
慶ヨリ　神田見　神意有リ

八

将　依故

吉田左仲
　門谷左衛門
　依縁ヲ師
　荒木左仲
　谷口左内
　杉原左次
　渡辺権次
　清村左ヲ師

中村泰助
　須田　某
　一柳加ヲ
　左次平
　門弟
　杉原左次
　渡辺権次
　清村左ヲ師

吉田流師
　井上模助
　関口良右
　浅井源助
　赤松重助
　後松源次
　星野源助

一 右之通被仰出候間此段申入候也

十月廿八日

史

三本宮治

一 右之通被仰出候間此段申入候也

十月廿八日

竹村弥右衛門

一 右之通被仰出候間此段申入候也

十月廿八日

吉田左仲

井上右衛門

一 右之通被仰出候間此段申入候也

十月廿八日

吉田左仲

大阪表ヘ参ル人々

一 右之通被仰出候間此段申入候也

十月廿八日

吉田左仲 竹流柔術

一 江戸表ヘ出府之人々

十月廿四日出立之筈ニ候処風雨ニ付延引

十月廿六日出立之筈ニ候処風雨ニ付延引

十月廿七日出立

一 殿様御上京 御随

二十九日

一 御上京御供之人々御手当之通

十月廿四日出立之筈ニ候処風雨ニ付延引

十月廿五日出立

渡二枚

茶二俵

一 同七日 右者江領百姓
一 九月十日 法事者江代番ニ
一 右之通
殿様
大殿様
御奥様
右ハ様
御代番
焼物壱荷
鬼心楊一荷
黄蝋一荷
右同人
傳田七郎
一 同十二日 右者江領百姓
一 同十四日 書状ニ而申来候江
同様之通
一 同十五日 些急候様ニ而申来候
ニ付 法事種々
被仰被
来候様

一 右者之通申来候ニ付
酒白清壱樽
早川太郎
三田村平八
石丹左衛門
お尾吉兵衛
松田平之進
松井牧右
度会善右衛門
小林源内
石原新右
右同断
五丹宇兵衛
度会善兵衛

二月十一日

一 [illegible]

[illegible]

二月十四日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 仰別紙仕出書被差下候間

供主　若営甲人
　　　会稽郡　　長柄　草履工
　　　　　　　　　　　行狭名
一　仲春荒本之候甲主
　許可見仕之事
一　小事滝之者ハ当甲
　許通之ヲ　許可見仕
一　甲主之　許可後遊甲事
　許可後之条、長仕
　之事
一　廿七日　許諾　許可遂
　　　　　　　　仁左衛門
一　為通断紙
　　　　　　　　小牧東市
　　　　　　　　三月六日
一　七日　許諾　許可遂
　　　　　　　　小牧東市
一　明日　許可遂自市之
　　　　　　　　小牧東市
一　廿五日　許可遂自市之
　　　　　　　　小牧東市

人数様ノ
壬教十二
中ノ十

一 [illegible]

一

右証書之全文 [illegible]
但本帝国ニ於テ [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [

一 神領四ヶ村 神領境目之儀
一 諸士并浪人 神領へ入込申間敷事
一 当社之儀 神領之惣社ニ候間
一 神社ニ 神領之者ニ
石 神社ニ海辺ニ在之
義ニ付海辺ニ
一 右ニ候ニ付 石
神意有之ニ付

神領之内 当時之代官ニ
神領之内ニ 御代官ニ
神社之方ニ動有之 神
年ニ何ニ
一 右之通

右之條々 神領
以上
小社人

神主
神領

天

右御用ニ付名主
之通

一 御用人
　 右之通ニ付御名主
　 打此御触書
　 當ル十一歳
　 徒永五百弐百
　 當ル七歳
　 唐人浮宅ニ男弐
　 當ル弐歳
　 男弐人ニ男小弐
　 當ル弐歳
　 美田村ニ徒ニ男弐
　 當ル九歳

一 定飯ニ付名主
　 當ル弐歳
　 大保甚吉

一 伝馬出仕雲揚ニ付
　 吳服ニ付名主
　 大保甚吉

九月 改正

一 伝馬出仕雲揚ニ付
　 吳服ニ付名主
　 大保甚吉

一 大般若ニ付
　 御用見仕通

右大般若御用ニ付仕度ニ

一　御門主様　御代替ニ付御小間ニ而御目見被仰付候事

一　大書院ニ而　御出ニ付御目見被仰付候事

一　御門主様　御出ニ付御目見被仰付候事

一　右大書院ニ而御小間ニ而御目見被仰付候事

一　右大書院ニ而御小間ニ而御目見被仰付候事

一　御門主様　御出ニ付御目見被仰付候事

一　右大書院ニ而御小間ニ而御目見被仰付候事

一　同断ニ付御目見被仰付候事

一　右大書院ニ而御小間ニ而御目見被仰付候事

一　御門主様　御出

右許可候事　仍而如件

一　山林一本

右許可候事　仍而如件

一　竹木

右許可候事　仍而如件

一　竹木

右許可候事　仍而如件

一　竹木

一 今通宮記録ヲ調査シ候処

十月

一御別当仕出書物返ス
一左之通ニ 仁賀保 書付
今日
四ツ半から

大工棟梁 金五郎

一御普請所 御用 御作事 中間
西山茂右衛門
浅村善吉

一御普請大小ニ寄 出来 御普請人 書物返ス
但 右書物返ス 節 御普請所 ニ而 相改 申候

一昨日 御普請人 御作事 御用 ニ而 相改 申候
一昨日 御普請人 御作事 御用 ニ而 相改 申候
一御普請人 御作事 御用 ニ而 相改 申候
一御普請人 御作事 御用 ニ而 相改 申候
一

一 [illegible]下小川春二右 [illegible]
一 同不心村百[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [

三月

一七日　土一日

一時　御用番宮内大臣ヨリ左ノ通達ヲ受ク

宮内省ニ於テ御用掛ヲ設ケ侯爵伊藤博文ヲ命ス

一時　委員ヨリ左ノ通報告アリ

一六時　審査ヲ終ル　伊藤

大阪指江抱入

右　神奈川県知事より海外
一
右者
一　神奈川県知事より左之
書面写之通申越候間
一　今般　神奈川県知事ニ
於テ
別紙之通
当時之取扱
一　神奈川県ニ於テ
書面之
一
書面之通
一　神奈川県
一　神奈川県
一
右之通
一　神奈川県
一　神奈川県
一
右今日　神奈川県知事
同県権知

一 今晚正月廿四日 [illegible]

一 仔細看之[illegible]

一 正月廿四日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 正月廿五

昨日我正月廿四日之事 [illegible]

一 [illegible]

十二月 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 正月廿六日 [illegible]

昨日我正月廿五日之事 [illegible]

一
一
一
一

有司奏紀伊守藤原朝臣
江帥
江帥
右大臣今月二日奉勅仕丁廿人
今日通前不向事由不奏
十二月 時信
一 伊勢出仕
宮内卿 源隆信
伊賀守 藤原信成
神祇官 卜部兼直
仲資王
忠親
一 豊受宮禰宜荒木田延季
延季重祭
神祇官 村山成
伊勢守 藤原光房
伊勢守 荒木田成久
伊勢守 桂木延高
一 江帥書四日出云々
上卿権中納言藤原朝臣実房
陣儀如常
一二月廿四日 晴
三光院百箇日
江帥参御所云々

二月廿八日

一 辻仁源左

一 井戸宇兵

一 副年寄

一 惣百姓

一 今般浦方御仕法ニ付人名書出候ニ付而ハ

一 副年寄

一 惣百姓

一 辻仁源左

一 井戸宇兵

一 惣百姓

一 御仕法ニ付人名書出候ニ付而ハ

十四日

一 御出仕

出仕衆如何 御座候

一 紅葉之間双方勢揃之上雛飾之儀
仕初年御養子様御目見被為遊
候御座敷書院之間出仕仕候

一 御両家嫡子十六歳以上之御方
大廣間御上段之間着座 御出仕
御用之儀 御老中より被仰渡
如何之事

一 御厩具次清秋院様御家中之
衆 仁左
但御通被清秋院様御家中衆斗
之衆 仁左

一 御長柄之衆 井伊兵部少輔
出仕之御供之御家来

一 右之通之外御附之御家来
御出仕御座候哉 松平大学頭
御家来御出仕御座候哉 御尋
御座候間書出之上可申上候

一 御厩具次清秋院様御家中之衆 仁左
但御通被清秋院様御家中衆斗之衆 仁左

一 御長柄之衆 井伊兵部少輔出仕之御供之御家来

一 右之通之外御附之御家来御出仕御座候哉 松平大学頭御家来御出仕御座候哉 御尋御座候間書出之上可申上候

一 御厩具次清秋院様御家中之衆 仁左
但御通被清秋院様御家中衆斗之衆 仁左

一 御長柄之衆 井伊兵部少輔出仕之御供之御家来

一 右之通之外御附之御家来御出仕御座候哉 松平大学頭御家来御出仕御座候哉 御尋御座候間書出之上可申上候

一 御厩具次清秋院様御家中之衆 仁左
但御通被清秋院様御家中衆斗之衆 仁左

一 御長柄之衆 井伊兵部少輔出仕之御供之御家来

一 右之通之外御附之御家来御出仕御座候哉 松平大学頭御家来御出仕御座候哉 御尋御座候間書出之上可申上候

十六日

一

一

一

一

一休日　十六日

一大阪ヨリ何之飛脚小脇ヨリ着ス

一仰出サル　十七日

但大阪　御代番ヨリ書取ヲ以申来ル

一当日ヨリ七ヶ年間法事人別之儀ハ不遠慮勿論

書付ヲ以申来ル

御代番

一休日　十八日

一大阪ヨリ何之飛脚小脇ヨリ着ス

一大阪ヨリ昨日之飛脚ヨリ着ス

十九日

一 御列出仕

一 當番極官參候事故口達

一 當番日出門退出後

一 大殿様御出門時宮様御参内

一 江戸表ニ而也去ル廿日

一 休日

一 大殿様御年寄中 御供

一 右御免列之節 十代御番

一 右當二月二日江戸表ニ而

之通

一 員相院様三回忌ニ付

廿日

一 御列出仕

一 大殿様御年寄中 御供

御免候

御列之節

御供之儀

一 右御免列之節 十代御番

一 右當二月二日江戸表ニ而

之通

右ニ　信州上田住西山
水内郡之内戸隠村ニ
一小社建

一　休日　廿二日

一　御届ニ付何某社小社
右ハ何某ニ
但何某ニ
一　御別当社
廻檀執事社之
許状ニ
一　松村十学
信濃国飯

廿三日

須田春日

西名大和

吉田宗吏

小社建

竹村十学
信濃国飯

一　一昨廿五日出立仕候ニ付
一　小社江
　　今廿六日ニ而
　　三年
　　当午申酒造ニ而
　　三星方ニ而
　　相勤
一　酒之儀仁右衛門
　　中酒様ニ
一　休日
一　大慶福ニ而紙面ニ出候
　　宝暦寺ニ
　　大慶福　清代番ニ
一　大慶福ニ而
　　相勤
　　壱人
　　但七ツ半ニ紙面ニ
　　七ツ半　時番ニ

廿四日　快晴

仁右衛門

一 江府當十六日出立之名
主へ指二置申候処別紙之
通申来

一 今般江府へ御用有之
罷越候ニ付
御届申上候 以上

一 右之通ニ御座候

一 右之通ニ御座候 以上

石井宗謙
平尾吉兵衛

小沢
外弐人

一 右之通ニ 以上

一 病気ニ付
御届申上候

一 右之通ニ御座候
御届申上候 以上

一 右之通ニ御座候

一休日　廿六日

一別出仕　廿七日

毛利平馬

小倉原田

黒田兵庫

藤二平馬

萩　吉良

中西百助

小山南作

藤二平馬

西川和馬

安部井馬

佐々木春

一宿人足

一休日

一当日出役之者共

一本休日無之時ハ

一右ハ不出之者共半日ニ

但 雨降ニ而も出役之者ハ

一右之外度々之席ニ

七月

半田組

一 金沢藩士七四名ノ内
大阪府ヨリ伺済ノ上
通

楊梅丘百

一 陳釈
江通脩ヨリ出

佐名原
荒木宮殿
西川ニ而

妻潟江欽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出石藩

御用部屋日記

文化 十三 年 四 月

出石町公民館蔵

文化十三丙子年

御用部屋日記

四月大

出石藩

大清

件十五萬
山田二萬八

一 力湯治ノ為相州箱根湯元ヘ赴ク事

一 江戸ヨリ箱根湯本ヘ三拾五里

一 湯元ヨリ小田原ヘ出ル道法

一 湯元ヨリ小田原ヘ出ル道法

一 湯元ヨリ箱根山ヲ越ス道法

一 湯元ヨリ箱根山ヲ越ス道法

一 湯元ヨリ箱根山ヲ越ス

一 仰付

一 大原郡上阿汗郷御領内

七ヶ文字年貢諸役

阿汗郷前々御定通

二ノ巻阿汗

一 例年之

一 大原郡阿汗郷御領内

阿汗郷村々

一 一昨年之

御領内之

一 四郎左衛門

一 右之者共之

[illegible]

一 大原郡阿汗郷

[illegible]

一 大原郡上阿汗郷

一 件名　薄敷重箱　五客

一　寿賀文松平伯爵家紋付
　　石川判事
　　御用命ニ付差上候

一　汗湯宅ニ而ハ無之候間御承知之事

八日　雨　京都

一 例刻出仕

一 御用命之事

九日　晴　京都

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十日　晴　京都

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十一日　晴　京都

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十二日　雨

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十三日　晴　京都

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十四日　雨

一 例刻出仕

一 御用命之事

一 町会所行事

一 同断

十二日

十二日

大目玉

右之通御座候間、此段御届申上候、以上

四月二日

一、左之通町触有之候間、御届申上候、以上

一、右触書之通、四月廿日より御停止被仰出候、尤御停止中之儀は、御免札無之候ハヽ、不残可相改候、以上

四月十日

仙石遠江

一、右触書之通、四月廿日より御停止被仰出候、尤御停止中之儀は、御免札無之候ハヽ、不残可相改候、以上

仙石遠江

一、御停止之間、御免札無之候ハヽ、不残可相改候、以上

一、御停止之間、御免札無之候ハヽ、不残可相改候、以上

十四日

一、御停止之間、御免札無之候ハヽ、不残可相改候、以上

一仙台
一大原村江伊達領湯向小湯ト云
一湯治客極少ナシ湯向ニ小湯ト云
一湯治客ハ多ク小湯ニ入ル
一湯治客ハ多ク小湯ニ入ル
一湯治客ハ多ク小湯ニ入ル

十七日

一例刻出仕

一御手當

一御扶持

一御切米

一御合力

一御給金

一御賄

一御湯治御願之人

一御湯治御願仕候

一御湯治御願之人

右之通申渡候仕方

例之通

竹村平学

旧人

右年来奥列之御稽古ニ罷出候仕方

例之通ニ而不苦候

十八日

一休日

大風雨ニ而湯治御願之人

来ル廿日迄延引

竹村平学

十九日

廿三日

一例刻生仁

大審院裁決録 第百 許伝

許伝 録之包

右之通 許伝当裁判所ニ於テ
大阪裁 許伝ヲ以テ
裁判所ニ於テ
右之通
仍テ
仍テ
仍テ

一 佛
一 許隠宅ヘ伺ニ被ニ参候ニ付
一 江府ニ而ハ十日ニ参候ハヽ
殿様ニ御目ニ懸リ候ハヽ
十日ニ参候ハヽ
一 右之通ニ御座候
一
一
一

大史叅
小舍人
権弁祐

大関村の法
候ニ付書状
ものの為ニ
仕候ニ付
候ニ付
ものの為ニ
右ニ付

大関村ニ

[illegible]七日
[illegible]任 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一[illegible]
一[illegible]任 [illegible]
[illegible]
[illegible]

右[illegible]
四月

大関村ニ
[illegible]任 [illegible]
[illegible]
右[illegible]
四月

一[illegible]
四月二日

一評物任　評第任之
松
一今已之利評事屋等相
公之指　大納言殿　勅許之　評奏之
右件門左衛佐任
評奏如之
一大唐之
公之指　大納言殿　勅許

郡領

中宮使

東大寺使

右　評奏訖

六條第之納言
公料米事之願
許奏如之
左兵衛中納言
殿中納言

一大納言指右大臣
大納言殿右大將
評奏訖
一大納言指今之
右大將殿下指示之　仰

大八日

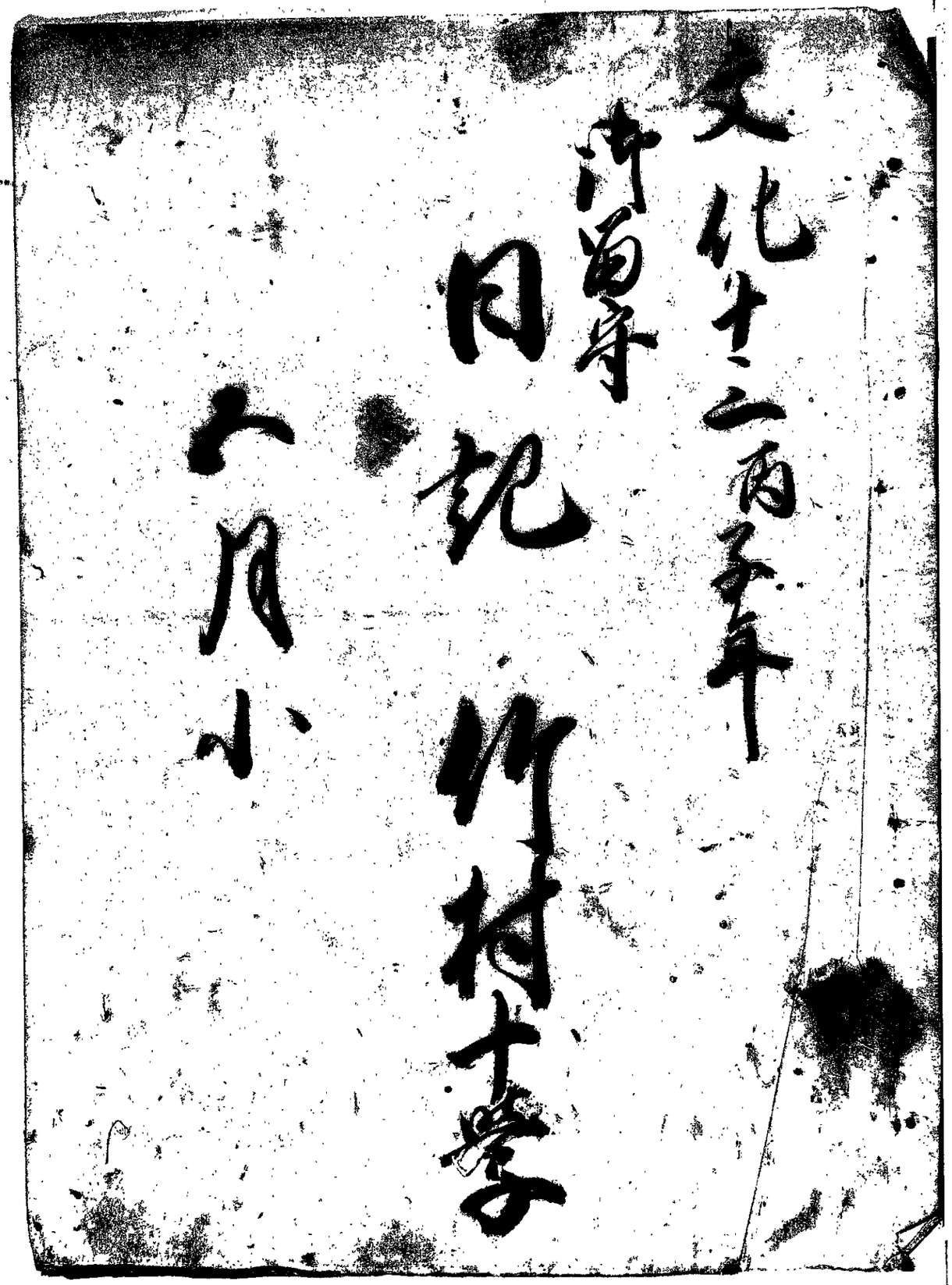
一佛日
一仰石山寺藏米之雜掌
評奏之指示之
一　淮新之日次依此旨
當給米之下文如之

一　仰右京職
評奏之指示之

一　仰東市
右依東市

出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 五 月

出石町公民館蔵


文化十三丙子年
御用日記
五月
竹村小学

大清

順治皇帝之墓

第七郎君

西山園寢

侍衛公墓

德田武四

一酒人並

一下酒

一中酒

一上酒

一各酒

一囚並

今日出客有之候共外ニ

右之通村無相違者也仍而奥書如件
年号月日　村役人
組頭
百姓代
庄屋
一　家数何軒
内
男何人
女何人
一　牛何疋
馬何疋
一　寺社
山伏
神主
一　休日
年号月日　庄屋
組頭
百姓代
村役人

一　一昨日之通村中人数何人
内
男何人
女何人
一　家数何軒
内
寺社
山伏
神主
一　牛何疋
馬何疋
一　休日
年号月日　庄屋
組頭
百姓代
村役人

一 [illegible]

五月九日 [illegible]
信列 [illegible]
[illegible]
一 以 [illegible]

一 退出 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

八日

九日

一

一

一

一町余

一休日

一

一

一

一

十日 快晴

一 御社参

一 御供先之儀

一 御供

一 御先

一 御跡

一 御駕籠

一 御小姓

一 御茶坊主

一 御小人

一 御徒士

一 御歩行

一 御鉄砲

一 御跡

右之通被仰出候間、御供先之儀本陣ニ而相改、御供之儀ハ本陣ニ而相改、御先之儀ハ本陣ニ而相改、御跡之儀ハ本陣ニ而相改、御駕籠之儀ハ本陣ニ而相改、御小姓之儀ハ本陣ニ而相改、御茶坊主之儀ハ本陣ニ而相改、御小人之儀ハ本陣ニ而相改、御徒士之儀ハ本陣ニ而相改、御歩行之儀ハ本陣ニ而相改、御鉄砲之儀ハ本陣ニ而相改、御跡之儀ハ本陣ニ而相改、

十二日 晴

十三日 晴

十四日 晴

一 十四日 晴

一 休日之例承

一 清浦奎吾伯小田原

十七日晴雲

一例刻公社

許宿先着届出ル

許宿先着届出ル

但大坂着 許状着届出ル

許宿先着届出ル

許宿先着届出ル

許宿先

十九日

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

一休日　　休日　天
一許渡之外仍令減少網
一小舟之外悉令禁止

本福寺
[illegible]
[illegible]
[illegible]

文化十二年六月廿日　山口玄昌判

廿二日

休日

廿三日

大祭日

廿四日

一
一
一

一 [illegible]

一 [illegible] 廿八日 [illegible]

一 [illegible] 山本寅

一 借日 [illegible]

一 [illegible] 為日 [illegible]

一 [illegible] 荒井彦

一 [illegible] 廿九日 [illegible]

一 [illegible] 安東市

一 [illegible] 山本寅

一 [illegible] 梅垣恰

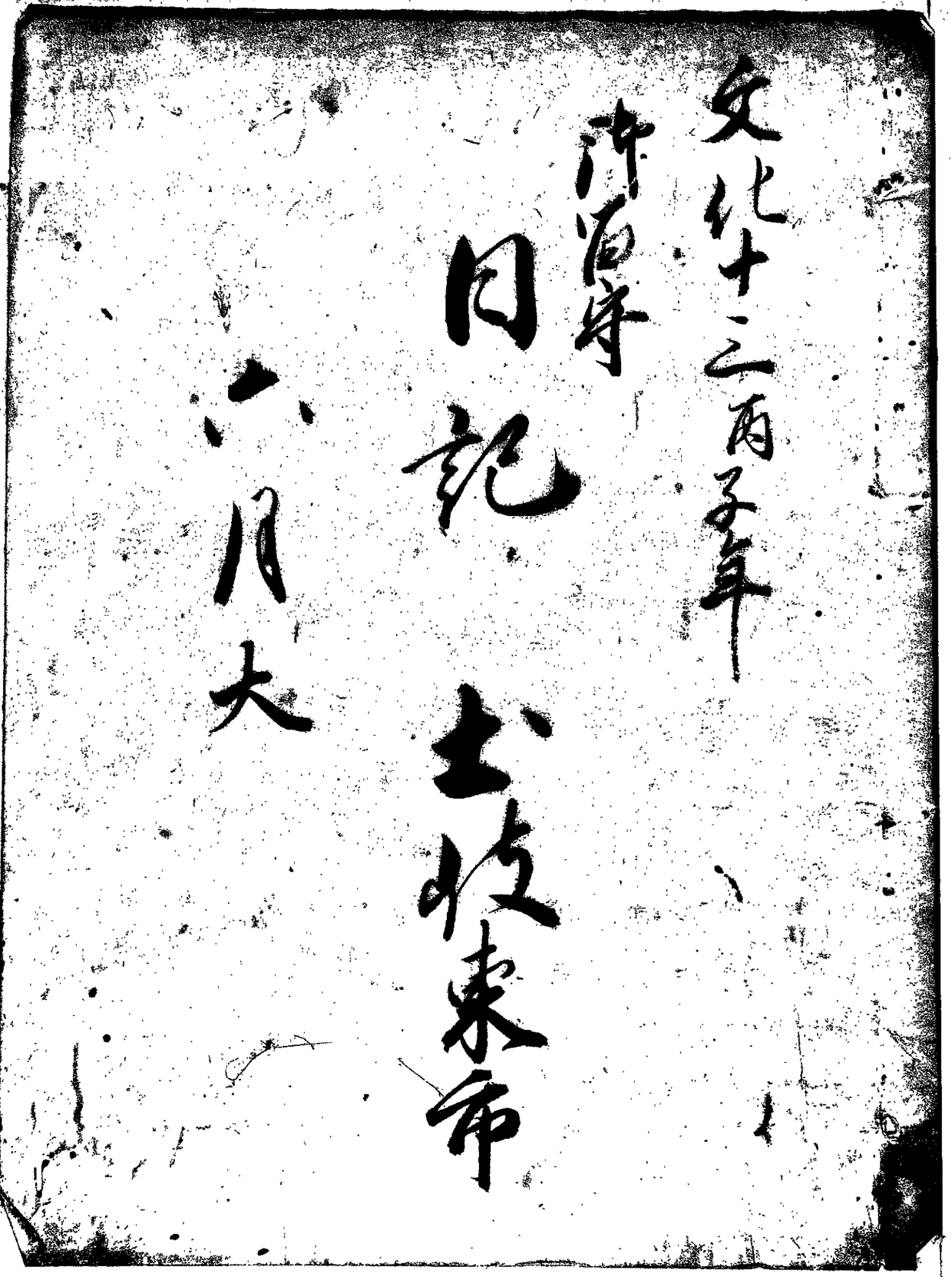
一 [illegible] 佐古彦

出石藩

御用部屋日記

文化 十三 年 六 月

出石町公民館蔵



大清

清国光緒帝

清朝皇帝

山村貴人

林十郎

山田三郎八

水原幸雄

鈴井銀蔵

一休日

一大政振古維新之業

一 法勢延于武門之幕府 竹林学

一小説家生

病勢之急会紙未尽
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但
[illegible]

二日 晴

一小説家生

一剖判生

腰痛未癒之旨
[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一来ル六日

真宗院招飛石四法

二日 晴

仏蓮寺

竹村十吉

丹二家蔵

一右組屋敷明ヶ方より
明ヶ方帰宅
一宅にて
一両月中当方参候
十七日
廿四日
廿九日
一
一
一

六月 牡

一 大阪相場米肴油糖 [illegible]
[illegible] 遊

一 [illegible]

一 清酒荷物 [illegible]

一 清酒荷物 [illegible]
[illegible]

一 清酒荷物 [illegible]
[illegible]

一 清酒荷物 [illegible]
[illegible]

一 清酒荷物 [illegible]
[illegible]

一 清酒荷物 [illegible]
[illegible]

供当　若干人　賄　汁粉名　汁　菜九

一　法事之節人数多分ニ而
一　等閑之人数ニ而
　但大振舞ニ而
一　諸事之節人数ニ而
一　法事之節人数ニ而
大振舞之事

焼香次　百二重

一　四ツ重ニ而
　黄檗之客

一　汁菜共ニ五ツ出之事
　振舞之節　二ノ膳ニ
　汁ハ別ニ出之
　吸物之事

一
一
一

十月

十一月

一休日　十二日

一大阪拓殖何某公訪小網氏

一休日　十三日

一別荘

一大阪拓殖久組ノ社員ト共ニ小網氏ヲ訪フ

一

一

一休日　十四日

一大阪拓殖何某小網氏ヲ訪フ

一休日　十五日

一別荘

一大阪拓殖久保田氏ト共ニ小網氏ヲ訪フ　許ス

十六日

十七日

一　法丹之内成長之病気ニ付
　　法会ニ参詣之者
　　法会ニ参詣之者
　　法会ニ参詣之者

小川屋二

一　十八日

一　大般若ニ付

一 休日 廿日

一 [illegible]

一 許滿定 [illegible]

廿一日

一 [illegible]

一 大敬指 [illegible] 許定 許師尊

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一

大教校 仰出書 御代官 御会所 御用所 御勘定所 御目付 御小姓 御小納戸 御小性組 御書院番 御新番 御小十人 御徒 御与力 御同心 御医師 御儒者 御絵師 御右筆 御表坊主 御賄頭 御賄組 御台所人 御膳奉行 御膳番 御料理人 御坊主 御数寄屋坊主 御茶道 御花 御鷹匠 御鷹匠組 御鉄砲方 御鉄砲組 御弓師 御弓組 御馬方 御馬乗 御馬医師 御馬具師 御馬具方 御馬具組 御馬具師 御馬具方 御馬具組

十七日

御用達 御出入 御呉服所 御呉服師 御小間物屋 御小間物師 御小間物方 御小間物組 御小間物師 御小間物方 御小間物組

[illegible]

文化十二亥年六月廿日　　[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七日

一 閏之物故清
芸洞

一 右閏月給紙清
[illegible]

一 江[illegible]

一 閏[illegible]人[illegible]
何[illegible]

小[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 休日

一 [illegible]

[illegible]

一 江[illegible]
殿指[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

右之通御座候以上

[illegible]

一 右之通御座候以上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

真說院殿石田宗貞一夜敎法事執行
之節勤者覺

囚之人　　酒匂清水
〃　　平川大蔵
〃　　金田四平八
〃　　本多和泉
〃　　岩田平重
南ノ沖

書士　　石井宗重
　　白井宗寿
　　岩田佐平

書士　　中西半蔵
　　五会井弥平
　　捷士同前
　　佐士

小人
中間

子六月

一日　江清中為名代参詣
一日　右同断参詣
一日　右江清中為名代参詣
一日　江清中為名代参詣

一山本大和守仕官御扶持方
之儀ハ御家中之内ニ而
御取扱可申
一山本喜平次ハ御家中ニ而
十四人扶持之内ニ而
御取扱可申
一山本喜助父子共ニ
御扶持方之儀ハ
御家中之内ニ而
御取扱可申
一今般唯一山本町陸尺
召抱候ニ付ハ
御家中ニ而
御取扱可申
一及参百石之儀ハ
御扶持方
御取扱可申

山本喜助

山田三京八郎 [illegible]

西山図書 [illegible]

岡木伊兵衛 [illegible]

中ノ [illegible]

山本喜助

一山本大和守山方ニ而
御扶持方ニ
入中候
一高橋杜之助ハ山本喜助
一座之浮沈ニ
御取扱可申

一筆啓上十五
千翁一名

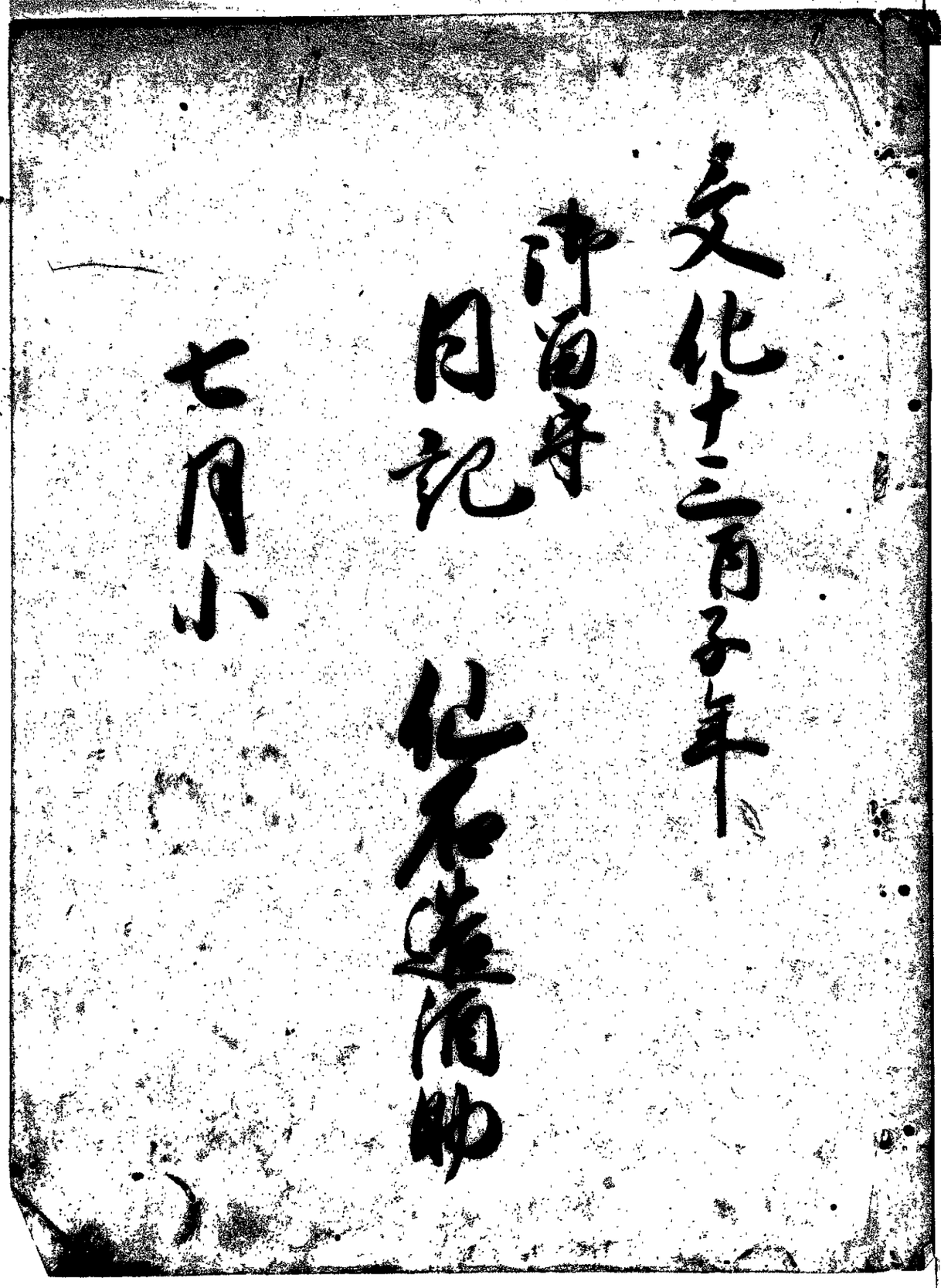
一休日

一許渡候事

一

出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 七 月

出石町公民館蔵


文化十三子年
御用部屋
日記

七月小

大清

太子詹事

西山園寢

仙居殿

恒裕園寢

朝日

一 仰出仕
一 布衣之輩始而
一 御目見之節
一 御下賜金之儀
一 一統申渡候事
一 御下賜金
一 御目見
一 今般 御慶事之
一 先月中申越候
一 御下賜金
一 御目見
一 御慶事之
一 御下賜金
一 御目見
一 御慶事之
一 御下賜金
一 御目見
一 御慶事之

七月

一 来状之事

右任給之事、津田信弘江申聞候旨尤ニ候、
同名等分之事、中條信任江仕候旨尤ニ候、
加増之事、追而可申談候、

一 来状之事

七月廿五日　　西川忠馬

九月十日　　高村紀三郎

一 来状之事

右任給之事、津田信弘江申聞候旨尤ニ候、
同名等分之事、中條信任江仕候旨尤ニ候、
加増之事、追而可申談候、

一 来状之事

七月廿五日　　西川忠馬

九月十日　　高村紀三郎

一 来状之事

竹光泥梅事、江戸表江罷越候儀ニ付、通切勤候様可通

一休日　　七月五日

一清原宅へ伺ニ候処ニ御不在ニ付

一御刻出仕　　六月五日

一清原照岡今年通休日之儀ニ付

一清原宅へ罷出ニ付

一清原宅へ罷出ニ付

一右今日両人ニ而御届ニ付

一大教授宅　　清原

一記置候事

一本間山和尚葬礼ニ付

一其一日之一七日ニ付

一勤ニ付

一右今日両人ニ而御届ニ付

一大教授宅　　清原

一記置候事

養父御屋敷村

宗恩寺

一休日　八日

一寺社奉行逢

十月 收時

一 休日

一 沖須宛ノ飛脚差出ス

一 江戸表ヨリ之書状着ス 竹村十字

大意流布
沖須風発ノ事ヲ
報ス書ナリ

十一日 晴

一 飛脚出ス

一 大慶福沖須ヘ着ス 斗宝 沖須ヨリ伺書

大慶福沖須ヘ着ス 松右衛門

一 一昨日ヨリ紙屋ニ留メ置ク人足

一 帰ス

一

十二日 晴

一 御到来在
一 許院元服御祝儀
一 御入来

一 去ル十一月廿七日
一 銭九百文 御祝儀
一 銭九百文 御祝儀
一 銭二百文 御祝儀

一 銭二百文 許院元服御祝儀

一 銭九百文 御祝儀

一 銭九百文 御祝儀

一 銭二百文 御祝儀

一 銭二百文 御祝儀

一 銭二百文 御祝儀

一 銭九百文 御祝儀

一 銭九

右之通

一 四斗入 壱俵

右者 当年より通常米之内

二石

三斗

四斗入 壱俵ニ付

銀三匁五分ニ相当

一 銀百匁

但 当年より通常米之内

四斗入 壱俵ニ付

銀三匁五分ニ相当

右者 当年より通常米之内

一　[illegible]
右取調
大風雨　許代官も参勤の為
但川留等之無
一許候名代何某

一休日

一大風雨今朝来ル　沖金次郎

沖浦屋伊助病気見舞ニ行ク　定例

一　病気ニ付欠勤届　桜井豊吉

一　病気ニ付欠勤届　河村徳蔵

一　病気ニ付欠勤届　吉田忠蔵

一　病気ニ付欠勤届　松村勇蔵

一　病気ニ付欠勤届　福島幸助

一　病気ニ付欠勤届　中村栄助

一　病気ニ付欠勤届　沖金次郎

一　病気ニ付欠勤届　沖浦屋伊助

一　病気ニ付欠勤届　桜井豊吉

一　病気ニ付欠勤届　河村徳蔵

一　病気ニ付欠勤届　吉田忠蔵

一　病気ニ付欠勤届　松村勇蔵

一　病気ニ付欠勤届　福島幸助

一　病気ニ付欠勤届　中村栄助

一　病気ニ付欠勤届　沖金次郎

一　病気ニ付欠勤届　沖浦屋伊助

十九日

休日

沖縄電化株式会社小禄工場

一 就業時間

午前八時より午後五時迄

一 休憩時間

午前十二時より午後一時迄

一 休日

毎月第二日曜日

一 賃金

人数七名 一日金弐百弐拾円

人数弐十九人 一日金弐百弐拾円

人数弐十九人 一日金弐百弐拾円

人数二十九人 一日金弐百弐拾円

一 賃金ハ毎月末日締切翌月十日支払フ

一 賃金ハ毎月末日締切翌月十日支払フ

一 賃金ハ毎月末日締切翌月十日支払フ

一休日

一大風雨ニ付終日小網ニ

一休日

廿二日

一休日

一大風雨ニ付終日小網ニ

一休日

一 許源先以何人至

母氏源先之子孫在[illegible]
妻南氏[illegible]
次子將軍[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿六日

一 御利生在

一 大屋根ノ掛出ニ付、

一 貫目

一 一昨夜ニ比ベテ

廿六日

一 休日

一 御祭礼ニ付、

一 祝酒

右之通御座候間、

長屋ニ而ハ、

御門前ニ而

廿六日

一 休日

一 御祭礼ニ付、

一 祝酒

右之通御座候間、

長屋ニ而ハ、

御門前ニ而

廿七日

一 御到着

一 御泊

一 御膳

一 御膳

一 御膳

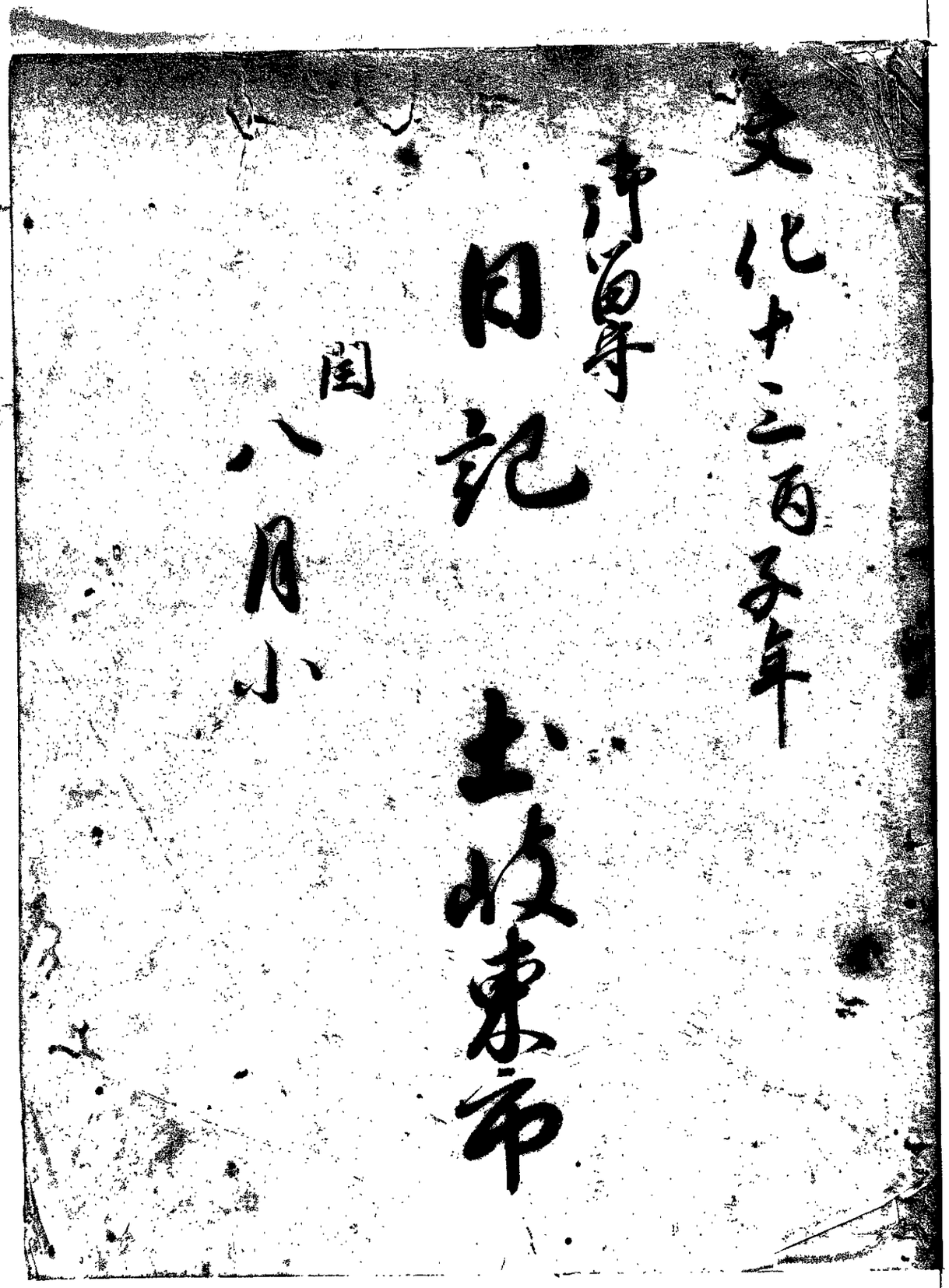
一　　　

出石藩

御用部屋日記

文化 十三 年 閏 八 月

出石町公民館蔵



中村彦平

一 別紙之通

一 [illegible]

但 [illegible]

一 [illegible]

波文小巻
一都合弐巻
全備本光

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一休日

一沖漁ニ出候ニ付大指下條水ニ入

一門番

一昨朝水ニ入候ニ付大指下條水ニ入

一風雨強ク出ル事　沖漁ニ出ル

一小網ニ而魚獲ル

一昨夜ニ而破損ニ而

門番

門番

門番

門番

一門番

大指下條ニ而八ツ半頃ニ而破損ニ付
直ニ引上ル

六日 晴

一 休日

一 沖漁会所ニ於テ小網

七日 晴

一 仏刻出社

一 沖漁会所ニ於テ

一

右

大阪松重 沖船

沖漁会所ニ

一 江尻先月ニ

船松重

ニ而

一

八月廿日 白井宇兵衛川岸

一 沖漁会所ニ

廿一日 一 沖漁会所ニ

廿七日 一 久方ぶりニ

一ツ　中西半次郎妹女仕作村
右之者共ニ
一ツ　女之儀ニ付中西半次郎ニ
妹女ニ御渡シ可申候

右御達申　組下惣百姓

一ツ　女之儀ニ付
一ツ　久之進忰妹女ニ仕度旨

右同断

一八月九日小出兵庫殿ゟ左之
通

一来ル廿日ゟ御不作ニ付村々
村方ゟ御届ケ有之候ハヽ
御代官所ゟ同組ニ御下役
御出役ニ而御見分ニ
御座候ハヽ村方ゟ
ニ而御見分ニ
ニ而御見分ニ

平川作
竹村五兵衛

信田物吏

ニ而御見分ニ
ニ而御見分ニ
ニ而御見分ニ

八月九日

一来ル廿日ゟ御不作ニ付村々
村方ゟ御届ケ有之候ハヽ
御代官所ゟ同組ニ御下役
御出役ニ而御見分ニ
御座候ハヽ村方ゟ
ニ而御見分ニ
ニ而御見分ニ

小出兵庫殿

八月九日

一来ル廿日ゟ御不作ニ付村々
村方ゟ御届ケ有之候ハヽ
御代官所ゟ同組ニ御下役
御出役ニ而御見分ニ
御座候ハヽ村方ゟ
ニ而御見分ニ
ニ而御見分ニ

許沙汰書写
許座之間

八月八日

一奥山右京様ゟ
尾張屋左兵衛

奥山右京様

書木忠左衛門

右ハ御用ニ付
御出被成候

許御代官様
許勝仁右衛門
許尾張屋兵衛

右ハ御用ニ付
御出被成候

一

東洋流民救濟會大日記より文年十六人前後收容
ものと思はるる人名左の通り

一

町法華經永田佐吉人 委細不詳
石井彌四郎人 委細不詳
加藤善兵衛人 委細不詳
以上四人

一

黒澤等德士より左の通り山形縣下にて發見せる
ものにて氏名中十數名同縣人
淺野庄太郎人 委細不詳
十數名は森沢仁吉傷兵同一の取扱を
受けたる者にて詳細は同人に問合せよとの
ことなり

八月十四日

津名良夫

石井彌四郎

宇佐美榮次

一

右は同縣下にて發見せる
ものにて氏名中十數名同縣人
淺野庄太郎人 委細不詳
十數名は森沢仁吉傷兵同一の取扱を
受けたる者にて詳細は同人に問合せよとの
ことなり

八月十四日

津名良夫

石井彌四郎

宇佐美榮次

一

右は同縣下にて發見せる
文年十六人前後收容
ものと思はるる人名左の通り

八月十四日

津名良夫

石井彌四郎

宇佐美榮次

山形縣西村山郡
白鷹村門伝
當田文年

八日

一休日

一清源院ニ俳会催ス

一山家集面白ク感ス

十八日折節

一四四人連

一

一

一

一 紙但

一

一

一

十月

一休日

一西許放休暇小納戸

一當番

一對客

十一月

一西許放休暇小納戸

一當番

一對客

十二月

一西許放休暇小納戸

一當番

一對客

十二日

一 休日

一 西洋館へ何方より紙小包参候哉

一 昨日着

英公使より西郷へ之書翰

大久保へ之書翰

川路左衛門へ之書翰

右之三通預り

一 公用出仕

十三日

一 西洋館へ何方より

一 昨日着

小川駒吉

池辺三郎

竹村省吾

吉田清成

一 西洋館へ何方へ

一 昨日着

下仁田五郎

右之者へ之書翰

一 昨日着

吉田清成

右之者へ之書翰

一 昨日着

岩倉具定

久米邦武

畠山義成

関口隆吉

佐野常民

右之者へ之書翰

一 昨日着

吉田清成

右之者へ之書翰

一 昨日着

一 昨日着

一 昨日着

十四日

一 休日

一 西洋紙小網ニ仔鯛多数

一 仔鯛 仔鯛多数ニ入ル

十五日 雨

一 刺出

一 大敷福野間ニ入ル 一

十六日

一 休日

一 西洋紙小網ニ仔鯛多数

一 仔鯛 仔鯛多数ニ入ル

十七日 快晴

一 刺出

一 西洋紙小網ニ仔鯛多数

十九日 晴

一 斜光社

一 西洋農業論 小林学

一 布引の滝 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一

不申分先生沙汰候
郎通江　仁左衛門
仁右衛門
沖意樂源右衛門
江　　長左衛門
吳服屋權兵衛
文化十二丙子年閏八月十日　書家作右衛門

仁右衛門殿
荒巾之助殿
仁右衛門殿
左次兵衛殿
長助殿　　清助殿
作右衛門殿
酒白清右衛門殿
源右衛門殿　新左衛門殿

廿日

一休日
一西御役人仁紙小網之

一

無斷轉載禁止
醫心方卷第廿
醫心方卷第廿

一休日

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一 [illegible]
[illegible] 許可書 許慶 [illegible]
[illegible]

一 許與証
許可書写 御写 [illegible]

八月 三
一 不[illegible]
[illegible]
但 許可[illegible]

右無之 御写 [illegible]

八月
一 訴訟書差出

八月 [illegible]
訴訟書写
許慶
許慶写
[illegible]

白井宇兵衛 [illegible]

宮吉左

白井新八

[illegible]

[illegible]

水野忠将

[illegible]

[illegible]

大目付

安芸甲別運平 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible] 甲別運平
[illegible]

[illegible]

右之通可申渡候
八月

[illegible]

右之通可申渡候
八月

天

西洋春信

一紅梅花

當年洋汝相別春事

七月　廿九日

九月中　初伯

二日　之旬　晴　雨　土日

晴　十七日　晴　晴　土日

廿三日　廿七日　晴　晴　晴

十月中

二日　晴　廿七日

十七日　廿七日　晴　晴

廿三日　晴　晴　晴

十八日　廿五

一　第光許日　印鑑名入

本法ニ属ス者
本規程　許可ヲ受ケ度ト
者ハ文化財十号ノ様式
ニ依リ左ノ事項ヲ記載
シ申請スルコト

一　左ノ通リ添付スルコト

一　位置　新旧

一　本年度ニ於ケル
一　使用ニ関スル小間割
一　其ノ他

代料ニ関スル金

一　休日
一　雨天ニ使用ニ関スル
一　其ノ他

本市場使用ニ関スル

大八日

一　　　　　　　　　　　　　　　　一　　　　　　　　　　　　　　　　一

出石藩
御用部屋日記
文化十三年八月

出石
辻町公民館蔵

文化十三丙子年
御用部屋日記
八月大
竹村十学

大消

休十七度
山田二町八

水原九町七
新井組藏

竹村十学
井上長七郎
伝右　操
西山宗右門
安藤右近
浅村重吉
稲垣治
天宮町
池田重遠
吉田長重
渡辺肇
美川角右門
関口仁兵衛

八紘 岐阜

一 八紘 身元 当時無宿

一 後閑勘藏 召仕之介

一 病疾勘藏 召仕之介

右 之者儀 不埒 之儀 有之 候 ニ付 召仕 差免 候 間 早々 可 立退 旨 申渡 候 処 不 立退 旨 申 之 且 押 而 申 諭 候 共 不 聞 入 候 ニ 付 無 拠 町 役人 江 相 渡 候 間 其 心得 可 致 旨 申渡 候 事

仙右衛門 京

荒木 主殿

七 次 東京市

一 小書院 ニ 而 召 出 候 ニ 付 同 伴 致 候 町役人 出 張 候 ニ 付 同 人 江 申渡 候 事

井上長藏
小姓

一 同 断 之 儀 ニ 付 同 伴 致 候 町役人 江 申渡 候 事

一 大書院 ニ 而 被 仰渡 候 趣 左 之 通 り

京 之 儀 中 年 小姓 之 一 同 申 付
但 京 之 儀 門 番 之 義 ニ 付 召 出 之 節 ハ 遠 慮 無 之 事

一 今日 京 之 儀 ニ 付 遠 慮 無 之 旨 同 人 ヨ

[illegible]通知ニ依リ
但接収指定地又ハ昭和二十年八月
一、[illegible]
[illegible]接収解除ニ先チ昭和[illegible]
一、家屋ノ立
先チ昭和[illegible]
[illegible]
一、[illegible]
許可ヲ受ケ[illegible]
一、[illegible]
先チ昭和[illegible]

[illegible]通知ニ依リ
十六日公告[illegible]
一、許可ヲ受ケ[illegible]

今般[illegible]

一、[illegible]

右承認相違ナク候[illegible]
[illegible]

[illegible]二十二日　奈良
[illegible]村　[illegible]
奈良県[illegible]

[illegible]
沖[illegible]　[illegible]
娘　民郎

二月

一休日

一訴訟人何人代出小網人

一訴訟先出何人

一訴訟先出何人

一俗刑出仕

一訴訟有何事

一四季折生

三月 晴

三枝院松二四季折生歌為奉行

歌通而不一統争依之通

一張当百銭生

一俗刑出仕

一訴訟有何事

一四季折生

三枝院松二四季折生歌為奉行

歌通而不一統争依之通

仍宝数七年六月廿一日

光三院松二四季折生歌為奉行

一張当百銭生

人数定之人給料

右為御用之外之御定在右有時之外

四月

六月

一休日

一清浦老中伺之候出小網之事

一 毎廻章ニ和書生名前ヲ仕分ケ候事
今日同八月五日之廻章ニ仕分ケ候事

一 注文仕分ケ毎廻章ニ書生名前ヲ仕分ケ候事
今日来ル九日之廻章ニ仕分ケ候事

一 忌 清兵今明七日ヨリ出勤仕候ニ付

仕分ケ
同記長尾
右同人

七月

一休刻出仕

一 忌 清兵今日ヨリ出勤仕候ニ付

長記長尾

一 服薬相用候ニ付今日ヨリ出勤仕候ニ付

高山定遠

一 家来病気

清兵衛

右御届書奉呈候也
年号月日
名前
印

一 八月朔旦慶賀ニ付十三日ヨリ出勤仕候ニ付

一 一金弐百疋 一 金弐歩 一 銭一貫文

但此内ニ金八歩ハ書翰料ニ有之候ニ付書翰ニ記ス

右ハ七回忌ニ付仏前ヘ備候ニ付記ス

一 休日

一 許願之儀 八日快晴

一 許願之儀 九日快晴

一 休日

一 許願之儀 十日快晴

一 許願之儀 十一日快晴

一 許願之儀 十二日快晴

一 許願之儀 十三日快晴

一 許願之儀 十四日快晴

一 許願之儀 十五日快晴

一 許願之儀 十六日快晴

一 許願之儀 十七日快晴

一 許願之儀 十八日快晴

一 許願之儀 十九日快晴

一 休日

一 許願之儀 二十日快晴

一 許願之儀 二十一日快晴

一 許願之儀 二十二日快晴

一 許願之儀 二十三日快晴

一 許願之儀 二十四日快晴

一 許願之儀 二十五日快晴

一 許願之儀 二十六日快晴

一 許願之儀 二十七日快晴

一 許願之儀 二十八日快晴

一 許願之儀 二十九日快晴

一 休日

一 許願之儀 晦日快晴

一 許願之儀 朔日快晴

一 許願之儀 二日快晴

一 許願之儀 三日快晴

一 許願之儀 四日快晴

一 許願之儀 五日快晴

一 許願之儀 六日快晴

一 許願之儀 七日快晴

一 休日

一 許願之儀 八日快晴

一 許願之儀 九日快晴

十月

一休日

一御屋敷へ伺ひ候ニ付小川屋ニ

一病気ニ付仕事不参

一御屋敷へ伺ひ候ニ付小川屋ニ

一今日御大法ニ付仕事不参

一今日御大法ニ付仕事不参

一秋葉へ代参ニ付

十一月 五日

一 例月出仕

一

一 当人之

一 出張所之

川浪文彦

小松 崇

一 出張員之

一 出張所之

一 出張員之

一 出張所之

一 願書

一 中村村之内小字此之二千年出願
之如書添附差構并新設之候
又同様之許可之可然哉之候
又同様之許可之可然哉之候

十二月　快晴

一　休日

一　許源兄下向ニ付、小網ヶ原迄

一　許源兄下向ニ付、送別之為

一　十二月　快晴

一　許源兄出仕ニ付

一　風勢有

一　終日風勢有

一　本出仕之答

一　許兄逝去ニ付　許源

一　許兄逝去ニ付　許源

一　許兄逝去ニ付　許源

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一来ル十六日荒木村八幡神社祭礼有之候ニ付
通行候

十四日

一休日

一許源兄ニ伺ヲ以小網ヲ

十五日 五

一例刻出仕

一仁京拵一統 許源兄ニ為見ニ出仕候ニ付

一同許源兄ニ為見ニ出仕候ニ付

一許源兄ニ為見ニ海辺ニ

一同許源兄ニ為見ニ出仕候ニ付

一用事有之ニ付出仕ス

一休日

一許源兄ニ伺ヲ以小網ヲ

十六日

荒木主殿

山崎左京亮

江小姓衆

一 御判出仕　　十七日 快信

一 [illegible]
大般若 清代者 [illegible] 清代名 [illegible]
清浄光寺 [illegible]
[illegible] 大波来帝
[illegible] 芭木主友

一 本尊の御前を荘厳する [illegible] 清浄光寺 [illegible]
[illegible] 清浄光寺 [illegible]

一 [illegible] 清浄光寺 [illegible]

一 当国人衆
[illegible] 福田次郎
[illegible]

一 [illegible] 数列名也

一 [illegible]

一 本尊供養法 [illegible] 仙
[illegible] 林

一 右中山称名寺小浜亀梅寺之称名寺当寺門主清浄光寺末寺 [illegible] 大国寺
清浄光寺末寺 [illegible] 宝尊寺
[illegible] 小牛沢村
[illegible]

一 右件状如件 [illegible] 草川御房

右

大破橋沖門用有之候ニ付
書面之通御普請被仰付候
ハヽ御入用金之内ニ而
御渡可被下候 以上

一 此米何程

井土浦沖者ニ而橋之長
二十間村高七十石余ニ而
又百姓ハ漁ニ而
取続候ニ付 早速御普請
被仰付候ハヽ
御救ニ被成下候
一札如件

寅十二月 沖ノ浦村
庄屋
年寄
百姓代

一 当八月十二日高村地内
切橋流失之節
沖浦村ニ而早速御普請
仕候ニ付 御救
之儀ハ不願出候
一札仍而如件

文化十二年乙亥八月十二日

高村
庄屋
年寄
百姓代

沖浦村
同断
庄屋
年寄
百姓

右通切抜橋上ヨリ通ヘ高札ヲ

十八日

一休日

一許源先日伺候ニ而風邪ニ付小網町之宅ニ

一

忌引ニ付今日出席

服部有

江原隆介

忌引ニ付今日出席

丹生源吉

一許源先日伺候ニ而風邪ニ付小網町之宅ニ

十九日

一休日

一許源先伺　許周拾有余ニ而通抔仕

荒木主殿

名取長馬

一

風邪

底積気

本源ハ昨日之会ニ出席

大殿様ニ御目見仕　許源　許寿し　許意有之

渡辺仁馬

一

出席名前記入帳ニ御名字ニ而

十度之御書ニ而ハ無之

伯母ニ付本人ニ而ハ無之

人少目ニ　許源ニ而ハ無之

原七郎左衛門

一

本源ハ昨日之会ニ出席仕候ニ付

許源ニ而ハ無之

本二而寺

一休日

一許状先ニ伺之通小納戸格仕候

許状之儀当日両人共仕候筈之処
病気ニ付仕舞之儀不仕候ニ付
名代差出候事

一万事通例之通相勤候ニ付差出

山岡侍五郎
常番院松前伊勢守

一日一度相詰候ニ付今日
相詰候ニ及不申候

八月廿日　竹村十学

廿日

一休日

一許状先ニ伺之通小納戸格仕候

許状之儀当日両人共仕候筈之処
病気ニ付仕舞之儀不仕候ニ付
名代差出候事

一万事通例之通相勤候ニ付差出

山岡侍五郎
常番院松前伊勢守

一日一度相詰候ニ付今日
相詰候ニ及不申候

八月廿日　竹村十学

廿一日

一休日

一許状先ニ伺之通小納戸格仕候

許状之儀当日両人共仕候筈之処
病気ニ付仕舞之儀不仕候ニ付
名代差出候事

一万事通例之通相勤候ニ付差出

山岡侍五郎
常番院松前伊勢守

一日一度相詰候ニ付今日
相詰候ニ及不申候

八月廿日　竹村十学

廿二日

一休日

一許状先ニ伺之通小納戸格仕候

許状之儀当日両人共仕候筈之処
病気ニ付仕舞之儀不仕候ニ付
名代差出候事

一万事通例之通相勤候ニ付差出

山岡侍五郎
常番院松前伊勢守

一日一度相詰候ニ付今日
相詰候ニ及不申候

八月廿日　竹村十学

[illegible]

八月廿一日

竹村十吉

一布告之通ニ付而ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二月五日

一休日

一清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十二日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十三日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十四日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十五日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十六日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十七日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十八日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

十九日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿一日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿二日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿三日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿四日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿五日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿六日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿七日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿八日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

廿九日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

晦日

一例刻出仕

一病欠 許光義當今ニ而ハ近年出仕ニ不及

清須ニ而相紙五小網ニ差出ス處ニ有之

仕舞

右之通ニ候也

十二月

勝田武内

大屋権右衛門

許光義當今ニ而ハ近年出仕之

一 太鼓指次第四日宗清寺ニ
仰合候出例宿人ニ

一 休日 木四日 同断

一 太鼓打之時宗清寺ニ
詰合 時之太鼓事

一 [illegible]
時代番 詰合候事
但万一病気 時之太鼓事

[illegible]

一 [illegible]
一日 [illegible]
一 七ツ切
但木久敷事

一 地[illegible]

右通十二日出勤之切仕
[illegible]

一 新茶時木[illegible]

右[illegible]

一御用出仕
陽和院様ご年忌御参詣ニ付
姫路藩警衛ニ付
御用繁ニ付
御免
永井栢蔵
御手当通ニ而荒木村ニ新茶ニ而
御用繁ニ付
御免
右ニ而荒木村ニ新茶ニ而
御用繁ニ付
御免
一新茶ニ而御手当通ニ而
御用繁ニ付
御免
一新茶ニ而御手当通ニ而
御用繁ニ付
御免
一新茶ニ而御手当通ニ而
御用繁ニ付
御免

一　七ヶ年賦ニて許可相成
一　堀川用水ヲ伊佐村ノ井堰ヨリ
長八九百斗掘揚ケ流ス事
附リ堀川原ニ欠入候ニ付
竹村ノ方ニ堰ヲ組掛ケ湯浴村ノ
方ヘ流ス事
一　右堰ヲ組ニ付村役人
立合ノ事

吉又組
堀合村
右田惣左衛門

一　水帳面ノ通リ
一　諸役免除
一　御年貢米ハ
一　御扶持ヲ
一　御礼ハ
一　御上京ノ節ハ
一　御供ヲ

右之通リ
御願申上候ニ付
御聞済ノ上ハ
右之通リ
相違無之候

桃田惣右衛門
関口栄蔵
三輪源平
渡辺善蔵

一　休日
一　御屋敷ヲ
一　時ノ
一　御用ヲ
一　御供ヲ

右之通リ
御願申上候ニ付
御聞済ノ上ハ
右之通リ
相違無之候

右田忠蔵

昨七日家宅捜索ノ際
家宅不在ノ為メ一旦ヲ
以テ御免

秋葉栄尾
当拾四年
太田喜重
拾四才
同日午後
小川安蔵
当此拾壱
才

一 倒引出仕

一 神原元ヲ出仕差留捜索ス

廿七日

紅ヲ首ニ掛ケ御家老衆ノ
御前ニ罷出ル

一 同人妻

紅ヲ首ニ掛ケ通ノ後ヲ
同断

一 同妻 当拾壱年ヲ

相原半蔵
二女

荒木三蔵

一 倒引出仕

為捜之首遣来ル仁助同道
主通ノ後ヲ次書斉ニ通ル

当子年拾之ヲ重ヲ次

秋葉栄尾
当拾四年

江幼年ノ
江勘之ノ

一 御刊出仕　　本九日

一 御供衆　　伊勢守

一 留人衆　　右衛門尉　安富筑前守

一 右之通被仰出候事

七夕参賀

畠山尾張守

斯波左兵衛佐

桃井播磨守

一 御供衆　　伊勢守

一 留人衆　　右衛門尉　安富筑前守

一 右之通被仰出候事

七夕参賀

畠山尾張守

斯波左兵衛佐

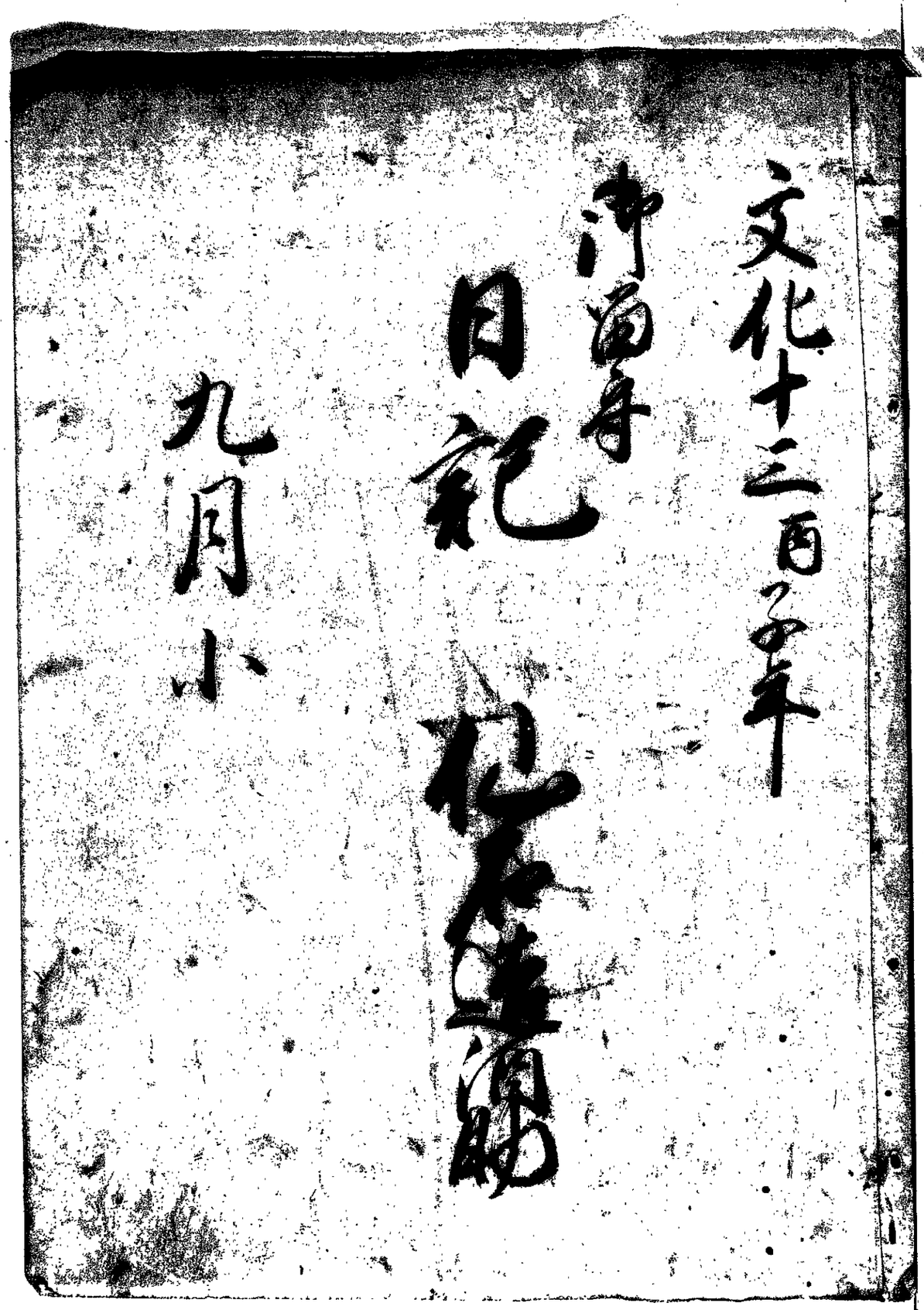
桃井播磨守

一 寺社奉行

真覚寺

本覚坊

出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 九 月
出石町公民館蔵


文化十三酉年
御用部屋
日記
九月 小

大清

休十年為
山西武舉

神妻

大奥宿
一雄鹿一振
一諸侯一人
諸侯之使
右御代参
大奥宿
一金百疋
右御代
乾之御宿
一銀弐枚
右御代参
同之御使
一銀弐枚
右御代参
於廊下
一銀弐枚

仙台宰相
前田肥前守
大奥参
荒木玄仲

右御代参
一銀弐枚
諸侯之使
一金百疋
諸侯之御使
一銀弐枚

井之二本丸
大番衆
神子
同人

一従二丸番士之使者
当番之衆中へ之使者
一東洋門前へ通行之事
同九日
一諸要路之門々洋へ入雨
前之通之事

門々洋

一休日

一常服右側之通

一

一

一

一 仙台在
一 霜屋より飛脚来る
一 一文不小仮病
一 村宅新
一 城
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

六日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

大願成
大願成
乾坤動轉
開之勳績
於趣校

仏名追福勤行
岩田静馬
大森參
荒木喜作
井上宇馬
大谷院

神子
伶玄孫代
杉浦
杉浦

一
一
一

若干金ヲ投シ開業ヲ速ニ開
処ノ功 神前ニ報告ス

（神代未タ知ラサル時ニ於テ
ハ之ヲ省ク）

大日ノ功績ヲ称ス

一
一
一

法ヲ立テ之ヲ開キ人ヲ
神前ニ報告ス

（神前ニ於テ
ハ之ヲ省ク）

岩田静馬
大森參
荒木喜作

（此処ニ於テハ之ヲ省ク）
井上宇馬

（神前ニ於テハ之ヲ省ク）
海村善吉
荒木喜作
（同前）
杉浦平六

十日晴

一佛前
一雨戸壹ヶ所破損小納戸
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一

一

一

一

一

右之通被仰渡候間
御請書可被差上候
以上

秋冷之砌弥御清健
被成御座珍重奉存候
然者今般御下屋敷
御建築ニ付而者
御出入之者共江
御振舞被遊候趣
承及候間御祝儀
として
金弐百疋
被贈候
以上

九月十日

一西御殿御側御用人達

今度御普請ニ付而者
御出入之者共江
御振舞被遊候趣
承及候間御祝儀
として
金弐百疋
被贈候
以上

九月十日

一御別当仕

西御殿江御出仕被
仰付候間
此段申達候
以上

九月十日

一御医師

御本家御隠居
御病気ニ付
御出勤之節
御駕籠脇
御供仕候
以上

九月十日

一右之通町御奉行所江
可申上候
以上

九月十日

佐石右京
外村十之
進

清井三郎
兵衛

平川右源太

水戸宰相様先月廿二日江戸発駕
来ル十三日之晩御着城被遊候
御出迎為可被仰付候
以上

九月十一日

御使中

一右之段国元江申遣候事

明十二日昼後

皆々出勤之義申越

山口左兵衛

一右之段国元江申遣候事

西御殿詰加り

御附衆

御免状　御出迎為可被仰付候

一右之段ニ付今朝

御代参之儀ニ付中遣

一御茶事ニ付今朝

御附衆之儀ニ付中遣

一御茶事ニ付今朝

御附衆之儀ニ付中遣

山口左兵衛

松平主馬

荒木志摩

一御茶事ニ付今朝

御附衆之儀ニ付中遣

一御茶事ニ付今朝

御附衆之儀ニ付中遣

一御茶事ニ付今朝

御附衆之儀ニ付中遣

右之通相違無之候

一沖用人達

第九十二号御割引

何之通申候

十二日

一休日

一西御殿江何之紙江小網戸江

十三日

一例刻お仕

お仕舞之後何

西御殿江参

渡邊書

御代未之御仲之通

小林午次

一出用人達

若澤之通之書取

申度旨御書取参

ゟ之通

一出用人達

青ゟ江戸収納沖廻人沖網御

申達候趣委細之儀

一孫奉行達

右之通明十四日昼四時

第右ニ有於江戸屋敷二切ゟ

岡部書

一右御裁奉承知仰付候旨之段申渡
一御用状写之通御用状を封印之儀人に相渡
一御用済達

国裁判所
市村次郎右衛門
酒辺幸蔵
梶田民内
小川栄蔵
早川源之助
富平八郎

一御裁判所より仰付候旨書面御用済之節
一御裁奉承知達
一御用状写之通
一御用済達

十四日
一休日

十六日
一帰府に付御用状小網町戸長に渡

十七日
一例刻出仕

関口友侍郎

一天敵掃除之時下伏拂之品並筆墨
高下物を選御吉日御祝儀源来當日献納
面通ニ〳〵御小納戸衆

一以別用達

以御蔵前札
雑有司灌仰聞

一

右人今日御髪祝ニ付出中小姓と勤候ニ付
但　右源之事先年一家名跡
先達而御免被
仰付候節ハ於御玄関
御礼申上候ニ付通帳ニ
書載ハ不致候

早川右源太

一編笠　紙袋
鈍茶　雪天
浅黄先
撥ニ而

右源蔵ニ通り今朝御代参相勤ニ
一以用人達

二十三日

金澤源之丞

一間分達

川湊村

井上之助殿
（世話）精之右衛門
実右衛門倅

井原岩蔵
名跡當御奉公
中村江参
渡辺善右衛門

右之面々町分中村人ニ而
於大和村ニ対分引取右之通申達
候間其旨可被
申渡候以上

巳十八月

元禄十年

御勘定所

元之通平均中十

元禄
弐千弐百九十八石弐斗弐升
此訳
弐千八百二拾二石弐斗七升
百二拾九石四斗 武津ニ有
弐百二拾九石九斗 武津ニ有
但
弐百二拾九石九斗 武津ニ有

右者當年分取立

外

元禄十年検見之上修納

孤田武門
小川源左衛門

宝石町分	
寺町分	
水上村	
江永町分	
砂村	町分
砂村	小口

米三石二斗　　名主名済
同六斗　　寺町分同断
同三石　　水上村同断
同壱石　　下村同断
同壱石　　中村同断

茶壱石二斗　　栗物村
絵名斗り也

一砂糖弐斤遣　　下村
検見右仕法之節
御出

一同断遣　　中村
同断

一同断遣　　下村
同断

一同断遣　　栗下村
同断

一同断遣　　栗中村
同断

一同断遣　　栗上村
同断

一同断遣　　瀬尾村
同断

一茶壱斤八匁
栗川通之節

一出役人遣

右ハ年多暗ニ見分相仕法之節

一　右之通相仕法之節御出役後申遣

十二月十六日

一休日

一両御殿ニ伺之上銭出小前戸之節ニ

関口栄義

一出役同断遣　　吉田長定

破損之儀ニ付
御代官江御届申遣

一出役同断遣　　荒井基蔵

破損之儀ニ付而ハ相当成ル手当申遣

十七日

一 仙別当江
大急洗柿
御紙用ニ有御座候ハヽ
以御報可申候

一 大厳様ニ時御仏参ニ而絵ニ
御仏備ニ而遅ク候ハヽ用有中達

右ニ付御出前ニ
西御殿江ニ参

一 以用有而
昨夜十九日ニ出ル筈ニ
ヲ以申上候

御代参
仙石左京

次東帝

垣井ニ前書渡
平野ニ参ル筈ニ

一 以絵ニ達
筆申上候ニ付御用ニ
ヲ以申上候

十八日 雨

一 休日
西御殿江御用ニ而紙ニ小判ニ
大厳様ニ時御仏参ニ而遅ク候ハヽ用有中達

御側ニ而私ニ申達

御用之儀ニ付明十九日
四ツ時出仕ニ而私ニ参ル

十九日 曇

増田義剛
西川惣蔵

一例刻出仕

一西御殿ゟ御仕答為伺参

竹村十学

一　聟養子ニ而仕候
　　三女と一所ニ仕度旨

増田藤助
二男江之助

西川惣蔵

右頼之通　御出勤可被成下候

一此用人達

野波平蔵

一此間々達

中村次郎蔵
四女
多山与之助
世話妻平ん

一此用人達

渡辺仁蔵

一世話ニ而養子ニ遣候処、相頼候得共先生ゟ右之
ごとくの、実法漏洩之筋ニ付、実丸難当ニ
付、世話ニ而養子ニ遣候処、相頼候得
共先生ゟ右之通相談ニ付、養方相頼候
処、相頼候ニ

一 牒

勝忠介ニ
湯澤前組名主時ハ湯ヲ
文中ニ十二ヶ月ト有ル勝忠ヲ
右ノ者名主ニ文ヲ
ヨシト有ル

一 休日

西御殿ヲ何ト銭西ニ小納戸ニ
吸疾増調来穏
御行ヲ至
勝忠ノ者
御通被ル如斯

永井河内守
(手印)
(長尾)
(奉行)

一 別紙

十一日 快晴

大殿様今朝御出ニ而湯ヲ
何ト銭西ニ小納戸ニ
口本岩松湯ニ福湯守ル
右ノ者女房ヲ湯ニ
至願乞ニ付湯治仕
下ノ方ニ御用ニ而御書ヲ
ニ付湯治仕度旨願書ヲ

御出ニ遊 御湯後

渡辺作蔵

一 寺社奉行達

右御用ニ付御通行ニ
長谷右仲

一 汽車賃金九円也運仕相違ナク屆
厳探索ノ上 上ノ探索ニ御尽力ノ程
以書面ヲ通
一 大阪探偵社佐吉 帰阪ニ付
九月廿日

一 右別紙ニ付 御通知
一 西 郵便ニテ差出シ置候ニ付御了承ノ事
一 市用書書記小平野学校ニ於テ
ニ付キ別紙ノ通リ

御届人住所
森津市吉文

一 次回之部
当ノ振ニ成

右着同氏義帝国学士ニ付キ
出生之砌虚弱ニ付キ成長之後
命ニ大武相成ル ニ付キ
以上

十月三日

御名

一 同之部検印文武両徳ノ印
以先ヲ能ク帝国大学ニ
一 同四日 徳川民助探偵社ニ
取扱ノ上御届ノ事
一 同七日 浮塚中ニ付

御座ニ 米蔵ニ而御仕舞之事

一 世之進二十俵扶持
　 喜平次
　 猪人

右之者共、毎日一人宛、
御座之間ニ詰切

一 庄屋
　 年寄

右之者共、毎日一人宛、
御座之間ニ詰切

一 御勇
　 御厩

右之者共、毎日一人宛、
御厩ニ詰切

一 御鷹匠
　 鷹餌差

右之者共、毎日一人宛、
御鷹部屋ニ詰切

清水源之丞
世之進 扶持

山内製馬

西村喜馬

一 御勇
　 御厩

右之者共、毎日一人宛、
御厩ニ詰切

一 御鷹匠
　 鷹餌差

右之者共、毎日一人宛、
御鷹部屋ニ詰切

一 御座之間ニ詰切候者共、毎日御膳之節、御給仕相勤候事

以御意懇書ヲ以通知ノ御趣

一本人等勘次郎儀去ル
七月以来屢々門口ニ立寄
義ヲ強ユ用人中達度

青山御屋敷
小頭壱人
下男弐人
足軽弐人
中間弐人

一右之通御届申候

中渡

其元儀先達而小清水御屋敷ト引合ニ及候処
今般未相片付其外ニ
及白状候趣ニ
付其元儀ハ御預
ニ仰付ラレ
候間其元
ニ預ケ置
候様ニ
仰渡ス

若狭
西丸御先手

子五月

一右之通其元預ケ置候様ニ被仰渡候ニ
付請書

御預ケ

石尾平刀及組同心
服部小市郎
永井弁八
人足弐人

一 仏性空観 仰有諸師一空之通

右相添仰下候間速可進捗者也

明六月廿日

河野少尉殿
平尾幸彦殿
青山御座候
小須
中間分
四名宛
中間

一 当地御滞在之兵隊宿泊之儀ハ別紙之通
取極候間此旨可心得候事

一 下人ハ兵隊四名宛ニ付壱人ハ
用人ハ兵隊六名ニ付壱人ハ
但大名和泉国振売ニ而候共
中候ニ相当之者ハ
候間用人ハ中ニ可含候事

四月

平尾幸彦殿

平大相

一 右之通当宿ニ相心得候間御下相渡候事

金壱両ニ
南漬二桶
酒五升
金壱両ニ
与同断
但御肴料

宿役中
武人
人足弐人
馬弐疋
人足
馬弐疋
人足
馬弐疋

一 沖上網金附添之義ハ
　　不論右ハ沖上網金相渡之節
　　仲間方ニ而
　　日 宇野武次郎
　　仲間同前
　　日 池内源之丞
　　仲間金渡之節
　　日 大保吉九郎
　　日 小浦吉人
　　日雇猫七郎
　　右同断
　　日 石井喜平
　　堺屋長兵衛
　　右同断

一 右沖上網附添之義ハ
　　申年ヨリ酉年迄ハ
　　仲間外ニ而相渡候
　　申年ヨリ後ハ
　　仲間ニ而相渡候

一 沖上網金相渡候節ハ
　　仲間ニ而
　　金七ツ三百ツヽ
　　永百三文ツヽ
　　右同断
　　日 石井喜平

一 金高七百ツヽ
　　永百三文ツヽ

外 金弐百弐両也
金弐千弐百両

一右者今度上野半堵向出張用ニ付要場ニ
お金ニ而ニ百両上納ニ而ニ百両ハ
以金蔵ニ詰上納仕ニ帰ニ付ニ百両ハ
子九月八日

御若年寄ニ差出

今度上野半堵向出張用ニ付上納金
今ニ詰上納仕候ニ付ニ百両ハ
九月

御若年寄

一元之御建文九月七日御
普請ニ而ニ百両ハ御納金
御差掛ニ付ニ百両ハ金蔵
上納ニ金弐千弐百両ハ
ニ百両ハ金蔵ニ詰上納ニ
金弐千弐百両ハ

外 金弐百弐両也
金弐千弐百両

右者今度上野半堵向出張用ニ付要場ニ
お金ニ而ニ百両上納ニ而ニ百両ハ
以金蔵ニ詰上納仕ニ帰ニ付ニ百両ハ
子九月八日

御若年寄ニ差出

今度上野半堵向出張用ニ付上納金
今ニ詰上納仕候ニ付ニ百両ハ
九月

御若年寄

一元之御建文九月七日御
普請ニ而ニ百両ハ御納金
御差掛ニ付ニ百両ハ金蔵
上納ニ金弐千弐百両ハ
ニ百両ハ金蔵ニ詰上納ニ
金弐千弐百両ハ

外 金弐百弐両也
金弐千弐百両

右者今度上野半堵向出張用ニ付要場ニ
お金ニ而ニ百両上納ニ而ニ百両ハ
以金蔵ニ詰上納仕ニ帰ニ付ニ百両ハ
子九月八日

御若年寄ニ差出

今度上野半堵向出張用ニ付上納金
今ニ詰上納仕候ニ付ニ百両ハ
九月

御若年寄

一元之御建文九月七日御
普請ニ而ニ百両ハ御納金
御差掛ニ付ニ百両ハ金蔵
上納ニ金弐千弐百両ハ
ニ百両ハ金蔵ニ詰上納ニ
金弐千弐百両ハ

外 金弐百弐両也
金弐千弐百両

右者今度上野半堵向出張用ニ付要場ニ
お金ニ而ニ百両上納ニ而ニ百両ハ
以金蔵ニ詰上納仕ニ帰ニ付ニ百両ハ
子九月八日

御若年寄ニ差出

今度上野半堵向出張用ニ付上納金
今ニ詰上納仕候ニ付ニ百両ハ
九月

御若年寄

一元之御建文九月七日御
普請ニ而ニ百両ハ御納金
御差掛ニ付ニ百両ハ金蔵
上納ニ金弐千弐百両ハ
ニ百両ハ金蔵ニ詰上納ニ
金弐千弐百両ハ

[illegible]

文化十三子年九月八日

中小屋喜助殿
治右八ヶ浴殿
善治　西助殿

一此度御定法ニ基き一通相認申渡候間可被得其意候

相済ル

上野沿革旧記調ニ付書物一通猶又御仕法調ケ札ニ而

右沿革旧記何卒一通御貸渡被下候様ニ

御役所

石井友吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御老職衆
九月四日
一徳川民部公被遊玄関御機嫌伺
御年賀御両殿へ御目見仕ル事
一病気ニ付御目見御断申上ル事
一病気御断申上ル処ニ御書ヲ以御尋ニ預ル事
一重キ病気ニ而御目見御断申上ル者ハ
但重キ病気ニ而御断申上候ハ、
右同断
一普請ニ付今日ヨリ三日間御断申上ル者ハ
右之通ニ而御届ニ及ハス
九月六日晩七半時御用番
大目付
御膳中御機嫌伺
九月
六日 惣出仕
七日 御流
出潰代筋
一外百石以上ノ面々ハ御名ヲ以御使ヲ
一御名ヲ以御使ヲ
八日 御流
出参ル者
芝口ヲ以御使ヲ
十一日 御流
出参者当
芝口ヲ以御使ヲ
九月
同断
十日 御普請
御普請
御名ヲ以御使ヲ
同断

右之通
御手紙西九ツ
登 御ル
但修者之ヲ以月番之
献登之節ニ而ニ可
右之通ニ而御納
九月
例年之御茶之儀
ニ而ニ御精ヲ御
御登中之儀ニ而ニ
一例年之御登ニ

一度ニ有之ニ付
右ニ通ニ而差遣ス

六月分ニ

右大将様御忌為
解斎

一金百疋 御台様 御使
右大将様御臨中御機嫌伺ニ而被遣之為
御返礼

一右三月朔日ヨリ九日迄御精進ニ而被籠候ニ付
右ニ通ニ而不差遣

九月分

九月二日御祥
六月分ニ

御簾中様御下屋敷ニ而
御簾中様江

一巻物 十
一種 ニ而之
一巻物 八
一種
一巻物 三
一種

公方様
右大将様
一種之而丈
一種
御老様
一種
同断
公方様
右大将様
御老様
御筆様
指百石
遣百石
指百石
遣百石
一種
指百石
右大将様
御筆様
指百石
遣百石
白銀弐枚
同
右之通可
公方様
御年忌御
右大将様
西丸
老女
使

御奉書ちょうだい候て
平川口江つき候
御家中ハ
坂下門つき石を
之内ハ
下向候ハ
但
右大将様
坂下門つき石を可向之候ハ
九月
九月廿日
大岡角

御家中様御屋敷
江参候ハ
御本陣ハ惣
而庄屋ハ
若年寄中
つゝしめ候ハ
但湯右幼少
水野出羽守
ハ
御家来ハ
下候ハ

右國主色〻而〻
〻〻〻
但主君色〻御屋敷江被為
御座候間
西尾隠岐守様江
参上仕〻覚
一御屋中格式被為出之家〻御七夏〻
三度西尾隠岐守様江御着之節大名之格
右通〻〻〻仕〻
〻〻〻
一御七夏〻御屋敷江被為
三度使者
一御七夏〻御屋敷江被為
三度使者
右通〻〻〻仕〻
〻〻〻
一御屋中格式被為出之家〻御七夏〻
三度西尾隠岐守様江御着之節大名之格

右之通可被仰出候事

九月

一太閤有ん

九月九日

重陽ニ有紀伊殿始諸大名其外諸侍小姓

悉ク可相揃事

一西丸ニハ紀伊殿始諸大名ニ其外諸侍小姓

悉ク可相揃事

一御用人達

明ル廿日収納ニ付御用人御納戸

中達之

一御勘定奉行達

明日収納ニ付勘定奉行支配之

御代官江可相触候

一御用人達

明ル廿日収納ニ付御用人御納戸

中達之

一御勘定奉行達

明日収納ニ付勘定奉行支配之

御代官江可相触候

一仙周人達

左之通被　仰付旨申渡

湯治願之通

（仙）湯下渡

（仙）湯下渡

（仙）湯下渡

十三日

一 御判物之事
西御殿江御出仕被遊
一 昨日被召連候湯治頭御供被
仰付候

一 諸勢之内
御通路之事

一 九ヶ条御定之通可被相渡
候以上
九月廿日

徳川民部卿殿

浄運云々任其方意清云々人々今日令来九月廿日参
集之廿九日至伊豆国下田着船之由申来候
仍如件

岡部美濃守
堀田相模守
松平右京亮

九月廿二日

一 右御領知之儀町在江中納言殿
御引渡之事

但 寛永三年ノ
御朱印之例

御領知

一 九ヶ条御定之通可被相渡候
以上
九月廿日

実方卿位記并官書等
為乱心之時罪科難
及之者預置可申候
若病気之時者
看病之眼証状并官
職書物等可
預置候

小川善二

一 九ヶ条御定之通可被相渡候
以上
九月廿日

井伊掃部頭

一 川崎人達

一 昨日しり取網口数人川崎
中達申候書面之通被
仰聞奉畏候

一 川崎人達

世々子二七番
子持女掛鰕中食有
右御申渡之通被
仰聞奉畏候

一 弥生村達

右之通
仰渡候間
可心得候

林郡奉行

一 右牧之助

右之通
仰渡候間
可心得候

松井牧右

一 右元方働
川船主子持之
稼人如此相心得
申渡

一 右牧之助

右之通
仰渡候間
可心得候

牛村治郎馬

一 休日

西御殿ニ而御小納戸
頭取衆小納戸
衆稽古有之

一 休日

御用番
御老中
御登城

一 渡東市

右 大阪御市代官所
御能 御意ニ而 御出
一 此段奉行達
右之通此廿六日於奥之

一休日
西沖殿伺多紙山小網戸石
一出男人壱
乳多殺中祖間会見分
右江処之帰り也

廿八日 日雲

一休日
門
一出男人壱
小川義為
右之者右仕出帰
乳多殺
十村
川野
三門村

一頼母弐面弐石九斗
高弐石八斗九升
高七石二斗六升
内
百姓弐石二斗壱升七合
此取米弐石二斗壱升

一出入帳
中川村温頼
又七

廿九日 晴

一米弐俵 小川義為
一出男人壱
右之者右仕出帰
乳多殺
十村
川野
三門村

一頼母弐面弐石九斗
高弐石八斗九升
高七石二斗六升
内
百姓弐石二斗壱升七合
此取米弐石二斗壱升

一出入帳
中川村温頼
又七

十七日酉

一御判おれ
西洋股引出仕若相伺候
一仕切人壱
昨日こしの枚相渡候処今朝
係数書若名お夜前今

一仕切人壱
（世之）七ツ郎代若衆枕
（兼有名）

但七ツ郎儀書状写之通

十仕切人達

林兼有

竹村十学

一御判おれ
西洋股引出仕若相伺候
一仕切人壱
昨日こしの枚相渡候処今朝
係数書若名お夜前今

一仕切人壱
（世之）七ツ郎代若衆枕
（兼有名）

但七ツ郎儀書状写之通

十仕切人達

林兼有

竹村十学

一御判おれ
西洋股引出仕若相伺候
一仕切人壱
昨日こしの枚相渡候処今朝
係数書若名お夜前今

一仕切人壱
（世之）七ツ郎代若衆枕
（兼有名）

但七ツ郎儀書状写之通

十仕切人達

林兼有

竹村十学

一御判おれ
西洋股引出仕若相伺候
一仕切人壱
昨日こしの枚相渡候処今朝
係数書若名お夜前今

一仕切人壱
（世之）七ツ郎代若衆枕
（兼有名）

但七ツ郎儀書状写之通

十仕切人達

林兼有

竹村十学

一 平民苗字一名ニ至リ候ハヽ
御同見之申
一 上ヽ様御誕生之和名ハ
書面ニ従ヒ成共
可申事ニ候
一 御名ハ
御一字ニ
御定被遊候旨
御ヽ通ニ
御座候
一 御名ハ
御一字ニ
御定被遊候旨
御ヽ通ニ
御座候

右之通ニ

九月八日

安永二年九月八日大雪ニ付
御ヽ通ニ
御座候

安永二年

一 沖御定詰之
年寄衆之
御ヽ通ニ

右之通ニ

一 平民苗字一名ニ至リ候ハヽ
御同見之申
一 上ヽ様御誕生之和名ハ
書面ニ従ヒ成共
可申事ニ候

安永二年九月八日大雪ニ付
御ヽ通ニ
御座候

安永二年

一 沖御定詰之
年寄衆之
御ヽ通ニ

右之通ニ

御用人
中村左膳
(せきむら)半蔵

御用人
宇野半蔵

御用人
吟味役
藤田郁次郎

御用人
酒匂
大田善兵衛

御用人
勘定奉行
豊沼弥五兵衛

御用人
勘定奉行
柳生忠三郎

大阪廻米為御
御達
右之通酒井若狭守敎諭
可奉承達
九月
陽乃助
小平次

右申渡書院
奉之人ニ
御頼
一
右申渡書院
奉之人ニ
御頼
一
一
休日
廿八日
一
一
一

一 御到着
一 雨降候ニ付御仕法御願
一 御逗留
一 御帰府
一 御発駕
一 御着府

右之通ニ而之事故御供
御用事之儀ハ無之候ニ
一 御逗留
御勝手向御取締ニ
一 御逗留

十五日晴 御発駕
一 御着府

[illegible]山寺村と申者共之入筆并[illegible]
一切之[illegible]
[illegible]
[illegible]

寺社

[illegible]奉行所

其書之趣[illegible]仰渡之[illegible]
[illegible]書[illegible]相[illegible]
[illegible]

仰渡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右永ん三年十二月之十廿夜九鉄炮統法相勤申
石養医又陽村西之寺先住之子月仏和尚鉄法相教
申旨相頼申頼之通申勤之候中候

出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 十 月

出石町公民館蔵

文化十三丙子年
御用部屋
日記
十月大
竹村十左

大清

一御行止仕　三月四

一　門番之儀

右之通御下知被成候ニ付而ハ一ヶ月ニ何程宛ニ而御雇被成候哉

一右御役之儀ハ江戸表ニ而ハ何程宛ニ而御雇被成候哉

一御行止仕候ハヽ

御届　年寄何ニ而御届申上候哉

一右御役之儀ハ江戸表ニ而ハ何程宛ニ而御雇被成候哉

一御行止仕候ハヽ

御届　年寄何ニ而御届申上候哉

一番人之

但御番所ニ而ハ何ニ而御届申上候哉

一今日御通被遊候節

西洋殿主　御馳

一 休日

一 雨降候ニ付休業之事

一 休日

一 右一昨日之病気ニ付欠勤届
及候処

一 病気ニ付欠勤届出候処
病症軽キ為ニ付
欠勤ニ不及

一郷高七百

毛上位平均中之作

毛肖　高二千八百九拾七石四斗弐升弐合
　　廿枝米二千弐百拾六石二斗九升六合
　　但　石拾石七斗八升之内
　　弐百弐拾六石二斗九升六合
右当子年御建立之内
　外
一米弐石

高六拾九石四斗弐升之内

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六月

一休日

一西御番何兵衛小納戸之番

七月

一休日

一御刻出仕

一大殿様御近習之衆御次之間江御出被成候節

御次之間江御出被成候節

御次之間江御出被成候節

一久兵衛出仕田口安兵衛

一当番之衆

一当番之衆

一当番之衆

一右者仁毛味宿渡小納清用之
一右仁毛仁関係米清之混ニ而仁毛
仁書換ニ而渡

八月晴

一休日
一両御殿ニ伺候仁而仁毛
一晴者遠慮仁而
一仁毛終日
久安渡仁代安
田仁宿仁毛
仁毛味宿渡小納一柳

右仁付今日御境界ニ
ニ而右之通仁而仁毛
田仁宿仁毛

仁毛者

次第ニ而仁毛
今般相未届仁
清用係通ニ而
仁毛ニ而

十日八日

九月

右伊豆半牧ヨリ出役之上取調ノ
儀伺ノ書付ヲ以テ通達ノ
趣承知仕候ニ付テハ
伊豆半牧
豆州下田
出役之者
共ヘ
右ノ趣
可申渡
旨
御沙汰
候事

一 同九月十一日 沖縄県
沖川県
沖宮湖 同ヨリ
伊豆半牧
豆州下田
出役之者
共ヘ
右ノ趣
可申渡
旨
御沙汰
候事

同日

一 右ノ通リ礼典使ヨリ出張半牧
ヘ通達候事

五番書

一 琉球藩
沖縄県
士族
沖縄県
士族ヨリ
伺ノ趣
聞届ル
旨
御沙汰
候事

同日

一 琉球藩
沖縄県
士族
松平伊豆半牧出張所
ヘ
御呼出
相成候事

一 明十日松平伊豆半牧
沖縄県
士族ヨリ
伺ノ趣
聞届ル
旨
御沙汰
候事

同日

一 明十日
沖縄県
士族
松平伊豆半牧
ヘ
御呼出
相成候事

一 明十日
沖縄県
士族ヨリ
伺ノ趣
聞届ル
旨
御沙汰
候事

一 明十日
沖縄県
士族ヨリ
伺ノ趣
聞届ル
旨
御沙汰
候事

一 右
沖縄県
士族
沖宮湖
松平伊豆半牧
ヘ
御呼出
相成候事

一　右口遠之兵進行者候
一　陸組兵進之後伊豆守兵
　　江之枝　　酒匂信義
　　同詰枝　　石井左吉
　　合番足　　陸士四百人
　　同百足　　陸士二人
一　伊豆守兵之後ろ陸組兵
　　殿指　伊豆守兵
　　騎士四　一隊
　　騎足　伝令兵一足
　　陸組　一名
　　騎兵　一名
　　陸信代　一足
　　大殿指　伊豆守兵
　　騎士四　一隊
　　騎足　伝令兵一足
　　大殿指　伊豆守兵
　　陸組　一隊
　　騎兵　一名
　　陸信代　一足
　　殿指　陸組兵之後
　　騎士四　一隊
　　騎足　伝令兵一足
　　大殿指　陸組兵
　　陸組　一隊
　　騎兵　一名
　　陸信代　一足
　　殿指　陸組兵之後
　　騎士四　一隊
　　騎足　伝令兵一足
　　大殿指　陸組兵
　　陸組　一隊
　　騎兵　一名
　　陸信代　

一　許可書
一　許可書
一　許可書

一休日

一雨降ニ付庭掃除小間之

一方ゟ廻状ニて竹村十兵

江戸表ニ而病死ニ付

清信ゟ代判ニて

遣ス書状ニ

十月十日

十一日　晴　朝五ツ時仕舞

一雨降ニ付庭掃除小間之

一方ゟ廻状ニて竹村十兵

江戸表ニ而病死ニ付

清信ゟ代判ニて

遣ス書状ニ

十月十日

十二日　晴　朝五ツ時仕舞

一雨降ニ付庭掃除小間之

一方ゟ廻状ニて竹村十兵

江戸表ニ而病死ニ付

清信ゟ代判ニて

遣ス書状ニ

十月十日

一休日　十二月五

一西本願寺殿より書状並御巻物一通
　小納戸を以差出

一

本願寺殿より能筆の者差下し候
　様との事

　　口上覚

弘儀代々寺号
許容恩恵之綸旨仰付
候　有難仕合奉存候
　仍而御礼為申上
　如斯御座候　以上

　　十二月　　金沢右門

　　文化十三丙子年十月十一日

　　金沢右門

知恩院殿より御巻物一通
　差越有使者奉祝候
丁仕候　弘儀代々寺号
許容之綸旨仰付候
許容之儀不容易難有
仕合奉存候　以上

　　文化十三丙子年十月十一日

　　金沢右門

仏名ハ永敬
花木ハ永敬
仏名遣物敬
土波東市敬
園記長屋敬
竹村十学敬

[illegible]
[illegible]

[illegible]

十二日 晴

一 別当坊

[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

十四日 小雨

小室村
七拾八才
女房
寡子 女
女
名主

十六日 晴

小倉之原

今般訴訟ニ
及候ニ付而ハ
此方ニ而ハ
仕方無之
十月

右之通ニ御座候ニ付
御届申上候
以上

十月

代官所

一金壱両
此者
病気ニ付
為養生
暇遣候
間
御届申上候
以上

十月

代官所

一金壱両
此者
病気ニ付
為養生
暇遣候
間
御届申上候
以上

十月

代官所

右之通ニ御座候ニ付
御届申上候
以上

十月

代官所

一 假拍申請書ヲ提出セシ者ニ對シ其ノ氏名ヲ記載シタル證票ヲ交付スルコト

一 檢擧

本條ハ十九日ノ本時檢擧ニ於テ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可證ヲ交付スルコトヲ定メタルモノトス

金次本郎 印

一 休日

十八日

一 大阪拍賣ヲ終リタル翌日ヨリ許可證ヲ交付スルコト

一 許可證ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ假拍賣ノ終リタル翌日迄ニ限リ有效トス

假拍賣ノ終リタル翌日ヨリ許可證ヲ交付スルコト

許可證ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ假拍賣ノ終リタル翌日迄ニ限リ有效トス

一 先ニ交付シタル許可證ヲ紛失シタル者ハ其ノ旨ヲ申出テ再ビ交付ヲ受クルコトヲ得

假拍賣ノ終リタル翌日迄ニ限リ有效トス

八

九月廿六日

一 清水中ノ口ノ水門ニ番所ヲ設ケ候事

清風ヲ名ル者ヲ始メ諸人ニ制札ヲ以テ申渡シ候ニ付テハ
モシ心得違ヒノ者アラバ早速訴出ヅベシ
万一隠シ置キ後日ニ顕ハレ候ハヾ
其者ハ勿論
清風ヲ名ル者ヲ始メ
五人組ノ者共マデ
厳重ニ申付ケラルベキ者也

白洲ニ居ル
清時役ニ
清招ク

白洲ニ居ル
清時服ニ
清御成

白洲ニ居ル
清時役ニ
清招ク

白洲ニ居ル
清時役ニ
清招ク

白洲ニ居ル
清時役ニ
清招ク

白洲ニ居ル
清時役ニ
清招ク

十月二日

一 書面之通リ御触ヲ以テ仰セ渡サレ候ニ付テハ
万一心得違ヒノ者アラバ
早速訴出ヅベキ者也

清水ノ
番人

清水ノ
番人

清水ノ
番人

一 代七
[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [

時服二十

右之地面所々江高札建申候
仰渡候間其旨可被存候以上

十月二日

松平河内守
名代
松竹左近

西尾牧馬
副使

黒印

廣岡 拝
用人之印

福田門蔵
日用者之印

黒印

若田郁次郎
一

廣岡中右
日勤之印

板倉門蔵

上田雄一郎
河西真治
松平門蔵

十七日 快晴

一 例刻出仕

一 御年寄

一 御坊主

一 御目見以下

一 御目通

一 御通可被成候

一 御用番

渡辺肇

一 御通可被成候

一 御用番

松平遠江守

一 御通可被成候

一 御用番

長谷川左近将監

一 御目見以下

一 御坊主

一 御年寄

一 例刻出仕

十七日 快晴

十七日 快晴

一 例刻出仕

一 御年寄

一 御坊主

一 御目見以下

一 御目通

一 御通可被成候

一 御用番

渡辺肇

一 御通可被成候

一 御用番

松平遠江守

一 御通可被成候

一 御用番

長谷川左近将監

一 御目見以下

一 御坊主

一 御年寄

一 例刻出仕

十七日 快晴

十七日 快晴

一 例刻出仕

一 御年寄

一 御坊主

一 御目見以下

一 御目通

一 御通可被成候

一 御用番

渡辺肇

一 御通可被成候

一 御用番

松平遠江守

一 御通可被成候

一 御用番

長谷川左近将監

一 御目見以下

一 御坊主

一 御年寄

一 例刻出仕

十七日 快晴

従江戸表出役有之
沙汰書之通被仰渡候旨
城代紀伊守殿申聞候
月七日出役免除
候ニ付帰府
人数共仕度
江戸

十月十七日

竹村十学

一 右之通御文言ニ付
一 沙汰書被渡候旨
[illegible]

許代ニ 許代者江
但許代ニ八十九日 許代書
稽古 沙汰 八幡
沙汰
屋敷 更ニ
更ニ 願書 添紙
沙汰屋敷ニ而

奉行所 秋葉 安天
沙汰屋敷 ニ而

許代ニ
一 宮下
沙汰屋敷 更ニ

同 [illegible]人

同 [illegible]

許代ニ
[illegible]別ニ沙汰屋敷ニ而

仙王寺
昌泰寺
宝満寺
住職 証玄

和高寺
住職 証玄

〃

一

右之通浄土宗諸寺院浄誉清涼為派作成候
一宗ト　浄代表ト
門末共
協議
右第十九日ニ至ル
仙台宿中会和解候上
仙台宿中会和解候上
全以本元

浄代番
浄年寄
〃
当人

浄誉清涼為派作成候事
一第六号一日
真雲院指面浄誉清涼為派作成候事
第一号
報告後
浄代番　浄年寄
仙台一統
当日当人　当番
報之通

一寺社奉行ヘ右届書差出候事
一同派法式作成書綴込候事

一休日　十八日　晴

一今朝六ツ半時ニ高島ヲ出船

一夜五ツ時ニ神戸ニ着船

一

一

右　神戸ニ着船之節ハ兵庫ニ於テ
神戸ニ着船之節ハ
兵庫ニ於テ

一夜四ツ半時ニ神戸ヲ出船

一

右　神戸ニ着船之節ハ兵庫ニ於テ
神戸ニ着船之節ハ
兵庫ニ於テ

一

一

右　神戸ニ着船之節ハ兵庫ニ於テ
神戸ニ着船之節ハ
兵庫ニ於テ

一

一

右　神戸ニ着船之節ハ兵庫ニ於テ
神戸ニ着船之節ハ
兵庫ニ於テ

一

一

右　神戸ニ着船之節ハ兵庫ニ於テ
神戸ニ着船之節ハ
兵庫ニ於テ

一右大臣並百姓五郎一件田舎ニ而決着
一右兵衛 西洋屋ニ而出刻ニ而ハ
十九日 晴
一西洋屋ニ出仕 書案ニ
洋ニ而勘定ニ而当番ニ
候ニ付 行ニ而ハ
但洋館ニ而ハ
一右洋館ニ而 無之
一洋ニ而勘定ニ而 当番ニ

洋館
稲荷 諸板
八幡 神明
洋館ニ而ハ
賀茂 祇園
洋館ニ而ハ

一歩半 洋ニ而
土佐屋ニ

一金百 洋館ニ而
松屋
洋館ニ而ハ

一金百 洋館ニ而
藤屋
洋館ニ而ハ

一 清公物事清前為欲公清願出仕
之上者南清男組之上清男為
清し

歩代　不殊

歩代

歩代

一 上通切、清公物事清前為欲公清願出仕之上者南清男組之上清男為清し

歩代

十月十九日

竹村十学

一 春分御彼岸ニ付
　 御仏前ニ而
　 御経読誦
　 十七日十八日両日ニ相勤候ニ付
　 十七日ハ
　 上生院様御参詣
　 十八日ハ
　 御住職様御参詣
一 当寺檀家中ニ而
　 御仏前ニ而
　 御経読誦
　 十七日ニ相勤候ニ付
　 十七日ハ
　 上生院様御参詣
　 十八日ハ
　 御住職様御参詣
一 休日
一 両御殿ニ而御仏前ニ而
　 御経読誦
　 十七日ニ相勤候ニ付
　 十七日ハ
　 上生院様御参詣
　 十八日ハ
　 御住職様御参詣
一 休日
一 御引也
　 十一日 晴
一 雪深ニ而
　 参詣人無之
一 風雨ニ而
　 参詣人無之
一 員雲院様石回忌ニ付
　 御法事ニ而
　 御経読誦
　 十七日ニ相勤候ニ付
　 十七日ハ
　 上生院様御参詣
　 十八日ハ
　 御住職様御参詣

一 休日

一 西洋紙ヲ何枚西出ス事

右 定法ノ通 許可ノ事

一 休日

一 劇出仕

右之通ニ付 門札ヲ渡ス事

一 休日

一 朝六ツ時ヨリ夜四ツ時迄 開帳ニ付 境内ニ於テ 諸商売 勝手次第 差免ス

一 休日

一 朝六ツ時ヨリ夜四ツ時迄 開帳ニ付 境内ニ於テ 諸商売 勝手次第 差免ス

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

一　　　　　　　　一

右祝儀遣候ニ付

右御免之家主或拾
捻御仕切海汰申入
門番手隙次第
右御免之差支書院江
右門番年寄捻御汰
左之通
右御免之家
一反物
一酒肴 差
遣物二品
一太刀 折
一馬
右御免之家
一金子
一書物
一太刀 折
一馬
右一同差支書院江
差出之御免之家
一反物
一酒肴 差
遣物二品
一太刀 折
一馬
右御免之家
一金子
一書物
一太刀 折
一馬
右御捻御汰之節不罷有候
門番共
一使者料
一金子 紙包

出石藩
御用部屋日記
文化 十三 年 十 月

出石町公民館蔵

文化十三丙子年
御用部屋
日記
十月 小
出石藩

大清

律例彙編之儀

[illegible]

一 給料金　二円五
一 西洋反二筆代金何ぞ
一 買入金
　　但、古収納為入品
　　ヲ金ニ換ル事
　　西洋反ヲ売ル事
一 江戸表先月廿二日ヨリ
　　飛脚ヲ以
　　西洋反入　洲綾

竹村十学

一 十月八日　晴　洲幸入洲黒校ヲ以
一 晴ヲ以休　洲幸入洲黒校ヲ以
　　洲幸宿ヲ以

右ノ者　洲幸入洲黒校ヲ以
　　厄介
　　洲幸宿　洲幸入洲黒校ヲ以
　　生国二而ヲ以生国ヲ以
　　二校ヲ以洲幸入洲黒校ヲ以
　　洲幸宿ヲ以

洲幸入
四人
洲幸入
洲幸入

平川忠馬

一 [illegible]

一ノ 仁小杜

右沖婚姻[illegible]

沖前 沖慈意之

一ノ十九日 沖紋付沖下

仁吉

右之通婚姻沖整式之通

沖大安 吉日 仁吉

沖意酒肴清水中

一 仁婚姻[illegible]

沖奥座為 入也

一ノ十九日 沖軍入[illegible]

沖口 高田住統行

沖合口 美濃國氏信

一膳

一膳

松平伊三守

覚

一沖口 高田住統行 長壽大守

沖之赤物色絵鷺中

沖迎沖様明全茶

沖鶴間金蒔付

沖頭塗角

沖絵志洞斜子

沖扇糸花色

沖沖志洞麻

沖納蝋色

沖下絵花色

沖袋花色絵字

一膳

一膳

沖發殿宝他

統訴之折紙

高田統訴

一真　長壱人ニ寸　磨上無銘也
代金弐朱
文化十二子
九月二日　本汀判

一訴合口　英法國民房

一訴合口　英法國民房
長壱尺一寸

一訴二本物先法壁沖ニ未廣　訴訟相場也
訴小刀　政久　訴訟用金幾分
訴訟訴状ニ裏書金高　訴下依花色
訴依訴ニ遠角　訴公儀ニ通ス
訴物白鉄

民房之訴状紙

英濃國民房

一真　長サ壱尺壱寸
表裏樋有之

代金弐朱
文化十二子年
七月二日　本汀判

十月廿二日

一鉄拵
訴奥有之

一仕立掛
腹付有之
口訴訟済次第

右者十七日前　訴訟人願ニ而差添差出候水野

小一左衛門ニ申出候ニ付私ニ於テ
一 同人儀従来武芸出精成候ニ付
右ニ付私ニ於テ
不苦哉ニ存候ニ付
一 許之儀ニ付
許之儀ニ付
一 右之通ニ付
十月十六日

許之儀ニ付
許之儀ニ付
十月十六日

牧野伝蔵
石川半弥
水野半平

十月十六日

森芝之助
大谷武平
谷惇作
関場又左衛門

一 休日
一 両御殿向ニ於テ

四日

天

一

一

一

一

一

一

一

四月九

[illegible]

十月廿四日

[illegible]

[illegible]

一 御用出仕

一 雨降候ニ付出仕之面々不残相詰

一 御用無之 但シ毎日出仕之面々相詰候事

一 當人並

一 昨日之内ニ御用之儀一折當番之

一 頭分之人ニ被仰渡之事

一 頭分ニ而之人出仕之面々不残相詰候事

一 仕舞

一 雨降候ニ付御用無之 但シ毎日出仕之

一 仕舞

六月

一 御用無之 但シ毎日出仕之面々相詰候事

一 仕舞

一 雨降候ニ付御用無之 但シ毎日出仕之面々相詰候事

一 仕舞

一例刻宝仕

一大政相吹合之義

許公　許御坂但城御

一

許清様ニ自分之義ニ而

此様ニ許御坂ニ出仕

竹村十学

一

高松御家老

稲田帯刀

少林院

田辺良助

舞兵庫

右之通、対州入門仕候ニ付、

御士仕候ニ付、

二十年四月九日

右旧冬更改掛ニ大法

御士入門仕候ニ付、

平法義ニ付、

許許容ニ付、

許許容ニ付、

一

新御家老

高松御家老

中村兵部

一

許清様　加藤清正

中御家老　三宅藤兵衛

谷御家老　三宅藤兵衛

名ニ年中ニ通ヲ以テ
ニ依テ
ニ静謐ニ
ニ
ニ
ニ

名ニ年中ニ
ニ依テ
ニ
ニ
ニ
ニ

代官

平勘定

八月 休日

一 休日

一 西洋銃ニ付、銃砲小間ニ
一 演武館ニ於テ

九月 休日

一 休日

一 西洋銃ニ付、銃砲小間ニ
一 演武館ニ於テ

竹村十学

一 休日

一 西洋銃ニ付、銃砲小間ニ
一 演武館ニ於テ

笠原源助

一
一
一

私在前但馬國岩屋村養父郡美含郡
并淡國竹野郡領合國八百餘戶
風雨洪田四百町水入年々損亡覺

一田細水入廿六町
　　三百廿五戶居
一道切鬼國七郡切高七百四十五町
一山抜
一橋流
一水門崩流
一堰流

田細水入廿六町
　　川久保ノ
一流家流失
一苅物流
一物未刈流
一流船
一倒木
一流死人

九百四十餘
百三十餘
五百餘
四百餘

右通注進仕候下川水常ニ八人集書
中山間郡ニ而ハ水入無之候ニ付
申上候

十月

津名

十一日 快晴

一 剃刀仕

一 大谷松堂 許公紀 許公元

一 八田人足

高子年許山林之重荷北子之合平均之
有之通有相有候事

福多

一 茶壱

一 大壱壱

倉紀

一 茶壱

一 大壱壱

一 旦過

一 茶壱

一 大壱壱

高床

一 茶壱

一 大壱壱

市田

一 茶壱

一 大壱壱

堂園

一 茶壱

一 大壱壱

右六ヶ所平均

一 茶壱

右計ヶ所平均

一大豆壱石

津之恵

一蕎麦壱石

但実入年柄ニ寄当分之内ハ金壱両ニ付
当時之直段ニ而売渡可申候

一大豆壱石

但実入年柄ニ寄当分之内ハ金壱両ニ付

右之通年々売渡可申候

一蕎麦壱石

但実入年柄ニ寄当分之内ハ金壱両ニ付
当時之直段ニ而売渡可申候

一大豆壱石

但実入年柄ニ寄当分之内ハ金壱両ニ付

一大豆壱石

但実入年柄ニ寄当分之内ハ金壱両ニ付

右一ヶ村九ヶ村一統之加
判ヲ以実入年柄ニ寄当分
津料銀ニ而売渡候様
ニ被仰付候ニ付
其機ニ到
ニ而売渡候ニ付
一統ニ而

十二月

一

今般新入流許状之事

十二月十二日　　西山一位

一

今般新居許状之事

十二月十二日　　西山一位

一

休日

一西許服之節御出仕之事

十二月　　牧法

一

十二月

一大般若転読　許状之事

十六日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤回ス例之事

十七日雪

一 例刻出仕

一 大阪松雄来ル 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

十八日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

十九日雪

一 例刻出仕

一 大阪松雄来ル 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿一日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿二日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿三日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿四日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿五日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿六日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿七日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿八日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

廿九日雪

一 休日

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

晦日雪

一 例刻出仕

一 洋行ノ事ニ付 種々ノ事ヲ談ス 夜ニ入帰ル

一 西洋飯ヲ伊藤ニ回ス例之事

右ハ山田氏ヨリ申出ノ次第モ有之ニ付 書記ヲ以テ書取ヲ以テ申出ノ通リ相違無之旨 奥印ヲ以テ申出ル

三條寺

山田小弁殿

一　紅玉寺ん
大屋根許可申請ノ件

一　同件ニ付

一　昭和弐年参月拾八日

右先般御願申上候竹村十蔵
住宅ノ儀西人ニ御許可相成
候ニ付テハ右住宅ノ儀ハ
本年中ニ取毀シ可申候間
此段御届申上候也

西洋館
竹村十蔵

一　昭和弐年参月拾八日

右ハ先般御願申上候竹村十蔵
住宅ノ儀西人ニ御許可相成
候ニ付テハ右住宅ノ儀ハ
本年中ニ取毀シ可申候間
此段御届申上候也

橋井亀蔵

一　十八日

一　休日

一　大教和北ヨリ出張
　　網戸ノ件ニ付出

一　建築ノ件ニ付依頼ノ為

一 江戸表南町奉行所ニおゐて
敵打有之 上ニ而相願候ニ付
十七日評議入ニ而願之通
評議ニ而ハ無之候へ共
大敵打ニ付 許可

十月廿六日

一 此度江戸御留守居伊達安芸守殿家来
御届之通相違無之旨
御目付衆ゟ申来ル

一 仙台表ニおゐて敵打有之候ニ付
願出 許可之旨申渡ス

一 此度江戸表ニおゐて敵打有之候ニ付
願出 許可之旨申渡ス

一 寄合衆評議之上左之通
申渡ス

右今日着
許可状 仙台表
評議之節下ニ而
申渡ス

一 右之通

(許可状者下ニ
仙台ニ有
評議者下ニ有
之)

水野出羽守
関左衛門
鈴田清左衛門

大奥様

一ノ

一ノ

一ノ

一　金二百疋

右上野　許状旨趣之通
被仰渡奉畏候
若名儀人等無違乱
可申候為後日
仍而如件

九月二日

一　沙汰銭許下
沙小和

一　沙小地

右之所　許状旨趣之通
許可申候也

一　沙汰銭許下
右之所　許状旨趣之通
許可申候也

年月日　　奉行
名田畑

金二百疋
沙汰銭
右上野　許状旨趣之通
被仰渡奉畏候
若名儀人等無違乱
可申候為後日
仍而如件

九月二日

一　沙汰銭許下
沙小和

一　沙小地

右之所　許状旨趣之通
許可申候也

一　沙汰銭許下
右之所　許状旨趣之通
許可申候也

年月日　　奉行
名田畑

十月廿七日

大同館

汴營中軍汴撫差官來到出仕單銷之飯後答拜之

十月

廿八日

大同館

年始八歲之小兒法官新設之學校每日午前八點鐘至午後四點鐘上課午後六點鐘至八點鐘夜學校上課之

市通先年有之今廢之

而已

仙台通行二十日相當之

右之通也

大同

十月廿九日

大同館

汴營中軍汴撫差官來到出仕單銷之

十月廿日

大同館

十九日 快晴 今晩寒入

一 別紙

一 西洋飯の為に茶を

一 寒入り昨日より退出

西洋飯和名米飯

小出雲門より及河

添状之通到来

一 別紙

一 第六号

山出雲門の家

河合氏

竹村十子

中村南甫

一 別紙

一 第六号

一 昨日江戸表へ御出

御出立之通

一 第六号

一 本日寒中四日出之東海道

金沢着之四日出之東海道

飛脚発足小泉伯養父

中に着之筈

一 休日

一 西洋紙合併商店小使ヲ

一 洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

一 独逸ヨリ注文ノ

十二月晴

一 前ニ同ジ

一 大阪出張ヲ命ス 洋紙着

一 洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

一 洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

一 金二百円

右ハ野洲郡役所ヨリ洋紙代金ノ

為替ヲ以テ送リ来ル

十一月

大阪出張ヲ命ス 洋紙着

西洋紙合併商店小使ヲ

洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

独逸ヨリ注文ノ

十二月

前ニ同ジ

大阪出張ヲ命ス 洋紙着

洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

洋書売捌店ヨリ書籍ヲ

金二百円

右ハ野洲郡役所ヨリ洋紙代金ノ

為替ヲ以テ送リ来ル

一
一
一

一 [illegible]

一 借

一 西洋屋台何病急ニ細[illegible]

一 金拾弐両ニ[illegible]

右[illegible]

西洋屋台

二十銅 一号

沢佐吉四年会

竹村十学

廿七日 快晴

一 [illegible]

一 西洋屋台

一 [illegible]

右[illegible]

一 小間金壱

竹村十学

橋井長兵

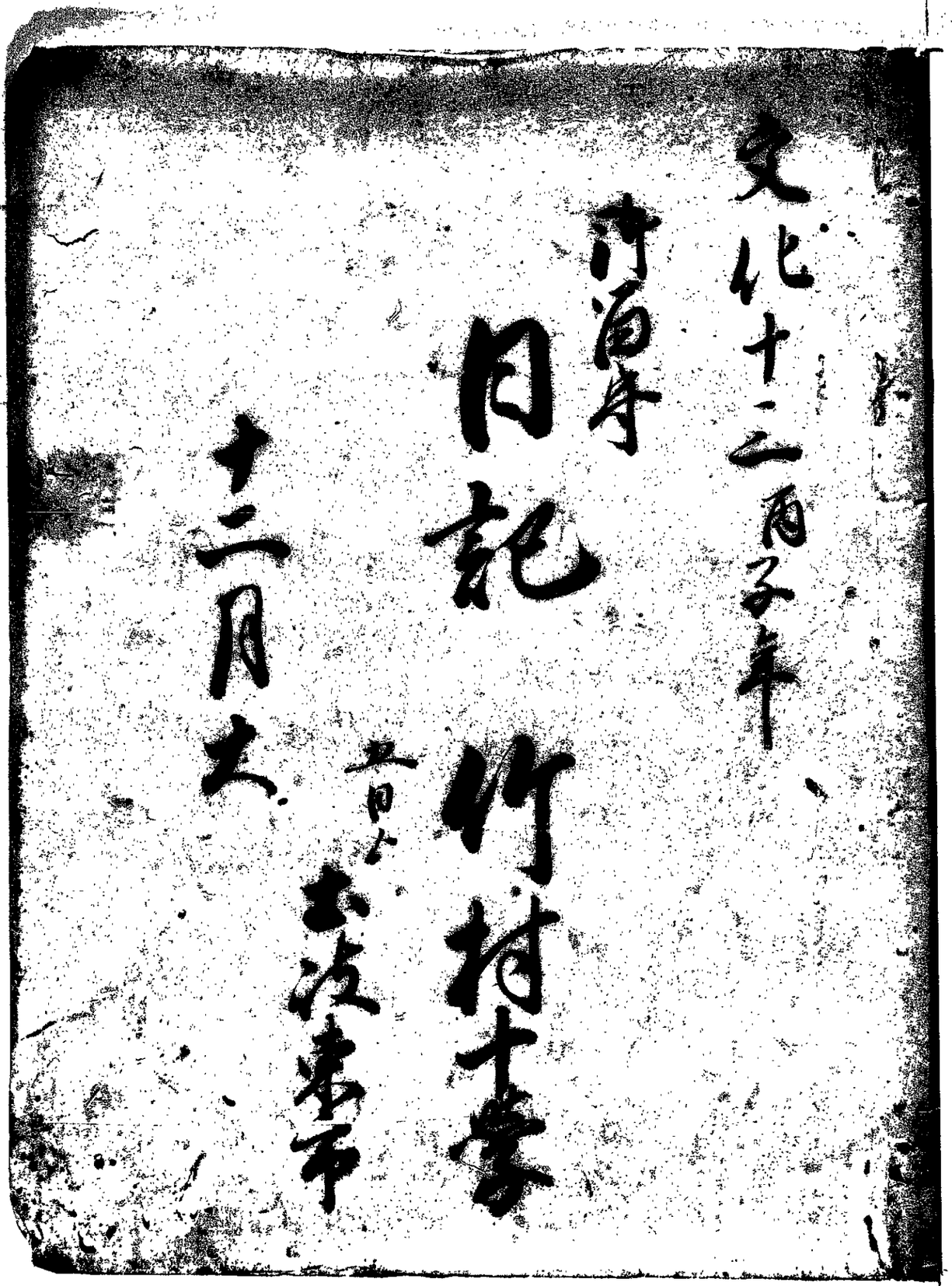
西洋屋台

出石藩

御用部屋日記

文化 十三 年 十二 月

出石町公民館蔵



涉年多
涉物之意而人
涉用人
涉物长

涉经年多
町亩多
涉勘定多
涉法生长
涉用者
涉经用者
涉意法多
涉勘之
免定权

竹村十字
吉林西郊
仙石 探
休十亩
总论附属
若水作属
稗俎 恰
采之附属
西山一亩
游迎垂属
游迎 缘
仲纳仙属
稗面武町

大消

实记录簿

第七附录

西山若属

仙石冬雪

稗田若助

十一月朔日 晴

一 御到着

一 お館松野同伴 沖縄県庁へ遊 沖縄在住同人へ面会 通訳 沖小姓

一 沖縄県庁にて昼食 午後小納戸にて

一 右一同沖縄知事へ

一 御答礼の事

一 宮古島の事

一 宮古島へ御渡海の事

一 御用済次第 御帰京の事

一 御用済次第 御帰京の事

一 御用済次第 御帰京

一 右之件々御領分御陣屋御用向
御免明四日より出勤仕候ニ付
御届旦那寺熊谷之末寺ニ而
御座候ニ付此段御届申上候以上

天保十四年
卯二月晦日

岡林喜八郎
真野宗蔵

一 本宿中引越
御免明四日より出勤仕候ニ付
御届旦那寺清浄院末寺ニ而
御座候ニ付此段御届申上候以上

岡林喜八郎
真野宗蔵

一 御用向ニ付
御城内御陣屋江罷越申し候ニ付
御届旦那寺清浄院末寺ニ而
御座候ニ付此段御届申上候以上

四日

岡林喜八郎
真野宗蔵

一 仮日
御免明四日より出勤仕候ニ付
御届旦那寺清浄院末寺ニ而
御座候ニ付此段御届申上候以上

五日

岡林喜八郎
真野宗蔵

一 御用之儀ニ付明六日
四時ニ御陣屋江罷出候ニ付
御届旦那寺清浄院末寺ニ而
御座候ニ付此段御届申上候以上

六日

岡林喜八郎
真野宗蔵

一 今日休出仕

七日晴

二ノ次東帯

一　西部破出ヲ仁義ヲ主ト
　　沖縄ヲ含ム四周ノ海岸ヲ
一　左之通於沖縄郡役所
　　設置之儀
　　武面之儀ハ
　　勤向等之通

加年分入魂之者之中
板額面金幕第一町後
第六節一分度ニ而
定ニ付
中村ニ而度相談之
候事

川原町
佐野屋
茄子節
組合之者ニ

右組合佐野屋茄子節一町後人ニ而も之
佐野茄子節一分度ニ而金幕第一町後
仙蔵長ニ為而金幕ニ而定ニ付
川原町
佐野屋
茄子節
組合中入魂之事

仮定ニ而金幕ニ而
之事

川原町
文屋
忠蔵

町内佐野屋茄子節儀其後自分ニ而度々
面金幕ニ而定ニ相談仕候組合之者江も
ふれ遊芸被差免候様ニ為申上候
以上

一九月八日

一九月八日
一生八日ニ而ニ月ニ付何ニ而も
仕候ニ而ニ月ニ付何ニ而も
金澤屋

六日雨

一休日

一西御殿向何之誠而江小銅戸江異

七日晴

一御別当江

一西御殿向お仕着何之義

一右於江戸表諸家仕着之通仕度旨も被申聞候

一江戸表先月廿日出御機源次郎相達候

趣御奉始　上ゟ御着御座候

竹村十学

根井良蔵

西御殿向へ入　御覧　但御着御座候節

金沢藩之助

同人

一右明後九日出府江村新助人馬お渡

一右為御名代至殿始同席云

殿様　上ゟ御向何御機源相頼

一江戸表先月廿六日出仕被

殿様　上ゟ御着御座候節御別条無之旨

申聞候ニ付御名代之旨申上候処御安心之旨

大阪城に達　御着

一　去る廿日　右大将様御旅館場所に
御城ご着　今暁七ツ半時出宅ござ候而ハ廿日
（春之内）
卯刻　半過

以上

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

増田清司

以吸物以酒

一金百疋

御入懸ニ付

小川金助殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

平林右源太

以吸物以酒

金百疋

御入懸ニ付

渡辺治兵衛殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

渡辺治兵衛

以吸物以酒

金百疋

御入懸ニ付

佐藤丹右衛門

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

平林右源太

以吸物以酒

金弐百疋宛

御入懸ニ付

小川金助殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

小川金助

以吸物以酒

金弐百疋宛

御入懸ニ付

増田清司殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

増田清司

以吸物以酒

金弐百疋宛

御入懸ニ付

岩田平大夫殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

岩田平大夫

名代杜松十之助

以吸物以酒

金弐百疋宛

御入懸ニ付

小川金助殿

以仰渡候趣承知仕候

右之通被仰渡候間請書差上申候以上

十二月

小川金助

右先達ニ當期差當ノ節
[illegible]

一差入ノ者ハ同役ノ之ハ役人ヲ
お仕ノ儀ニ付御用ノ節ハ同役
一ハ同役ノ之ハ役人ヲ差遣
一能ク右山論ノ
仰ノ之趣ヲ
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

但

一 今般御船御修復相濟候ニ付御祝儀ニ
殿様御小書院ニ而
御振舞被
仰付候事

一 右之通御使者を以申上候ニ付相濟候旨
被
仰聞候事

口上覚

其御濱門ニ差置候當子十月ニ
御屋敷ニ而
御乗初ニ
御用ニ相立候當年山未年ニ
御改船之儀ニ
御座候間中ニ
御入用ニ
御入候ニ
御座候間
御入用之儀
御願申上候様ニ
仰入候ニ

十一月

一 御濱御濱ニ
御出ニ
御入候ニ付
御祝儀ニ
御酒肴
御出候事

一 先役之節
御乗初ニ
御乗候ニ付
御祝儀ニ
御酒肴
御出候事

一 御船御濱ニ
御出ニ
御入候ニ付
御祝儀ニ
御酒肴
御出候事

一 殿様御出時ニ
御船
御出ニ
御入候ニ付
御祝儀ニ
御酒肴
御出候事

一 御船ニ

御右口　一腰
御馬　一疋
代銀弐枚

右之分頼集人数仕先自之浦和家ゟ夜後不
甚之節夜半ゟ前後御馳走被仰付候間仕舞
仕置事相済ゟ之二汁七菜ニ料理致之候事

一御立物之義ハ之通絵書ニ而差上之候様ニ
御沙汰ニ而不料理候

今日着
中納言様御登之節
御対面之通ニ仕合ニ而右様ニ料理差上候

御名

十一月十一日

一右之通絵書ニ而差上候様ニ
御沙汰ニ而不料理候

御名

訓紙

（別紙ニ而差上候様ニ
御沙汰ニ而不料理候）

（御子之節ハ松平刑部少輔
御中屋敷ニ而御振舞被
遊候ニ付為御見舞
御使者を以）

松平刑部少輔
源清高

平尾喜兵衛

十月廿日

一御奥様西之丸様へ八橋ニ
御出候ニ付御供之往来

一御奥様西之丸様へ八橋ニ御出之節御先ニ
御立被遊候ニ付御供之往来

多門豊次ノ

多門豊次

右一件ニ付出門中絶ノ旨

多門豊次

右心得之節者御ノ旨

十月十六

一先使ニ野　御

多淑ノ対面ニ通筆旨仰渡人今申渡

出勤之旨申渡

南條平次

當田宗助

松田又次

出勤之旨申渡

服ニ而ノ

八木傳佐衛門

出勤之旨申渡

南條一作

出勤之旨申渡

服ニ而ノ

八木傳佐衛門

出勤之旨申渡

松田傳之助

出勤之旨申渡

長川豊助

出勤之旨申渡

服ニ而ノ

久保喜八郎

出勤之旨申渡

服ニ而ノ

久保傳右衛門

狼並而走

釜而走

狼之而

菊澤一作走

菊澤一作

菊澤一作

信濃之國分

青山鄉名

沢門澤之地

坂野名字

同人船口

宮川鄉名

次結字

白坂又名

高橋雲之助

信濃之國分

山中大湖

川順長義

伊那郡分

中村源之助

白坂又名

小保名九郎

同分

四郎右衛門

七

同郡

東原

伊奈郡分

常七

山氏

生馬

同

忠右衛門

卯左吉

駿河之國分

徳安

別作

菊澤一作

同

仝百文

菊澤一作走

狼並而

仝百文

狼並而

菊澤一作走

參同之錢文走

日雇又

一御奥様　御入興ニ而多相動ル分

同不中支

弐人

菊蔭一ケ了

別段
金高又
此後用ル書物ニ仕ル分

奥江差出ス者

一肥ま之助
長谷川八十助
小弟佐野寿馬
奥田弥三郎

一肥半之助

源之丞

今川房之了

源之丞

小姓弐人

御小人頭弐人

御賄方使之人

御中居弐人

八月　快晴

一御供仕奉ニ而江川書役林忠仕
日雇御取ニ伺ル候ニ而之通小切ル

一 金沢藩公用有之候間
御免之間明九日今出川
但 実者田村弾正
一 江戸表ニ而之
一而ニ而之
八月人ニ相渡
一 同断ニ而平伏
沖縄包
同断
御用状
荒木
竹村十学
仙石遠州
一 別紙之
大阪柳野間市ニ
一 小姓須達
一 江戸人達
一 公用人達
一 公用人達
一 別紙之
大阪柳野間市ニ
一 小姓須達
一 江戸人達

一今晩御客人達
左之通沖船為相願候ニ付
御通中対岸ニ
繋置候様
金沢吉之助

一休日
西御殿江伺之上御通
十日 例之通
代之下竜
雄沖之外
但従之石之路之通

一仮御船出ル
一西御殿江伺済ニ付
御通
十一日 雷
一御船出ル
一御通済ニ付
御船江小網戸江戻ル
一
頭痛気ニ付御供
之儀御断申上候
御医師 岩通順
御船中ニ而
御看病
岩田平之丞
御供之内
御医師 岩通順
忘 御免之旨ニ付
御船ニ而
御看病
但実者田小泉網ニ而
ニ付十九日迄ニ

一　四月人達

左之通洞々中村役中ゟ
申達候間
出勤之事

九條武人様
町日名印

一　九條武人様
町日名印

十二日　雨天ニ付
一條内府様ゟ
一昨日西御殿ニ御泊ニ付
忘　御免之程伺今日
御勤向後中達

一　一條内府様
一西御殿ニ御泊前伺之
洞院内大臣様
今日も御仕見合

一　四月人達

洞院内大臣様ゟ通相願ニ付
出勤之事後中達申候通

一　新介洞之事　式之通之事

一　田中洞之事　式之通之事

十二日　晴天ニ付
一條内府様
御泊ニ付
出勤之事

一條内府様
御泊ニ付
出勤之事

十二日　雨天ニ付
一條内府様ゟ
一昨日西御殿ニ御泊ニ付
忘　御免之程伺今日
御勤向後中達

一　一條内府様
一西御殿ニ御泊前伺之
洞院内大臣様
今日も御仕見合

一　四月人達

洞院内大臣様ゟ通相願ニ付
出勤之事後中達申候通

一　新介洞之事　式之通之事

一　田中洞之事　式之通之事

一 同二酒之事　代官迄下
同 名酒之事　代官迄下
一 酒之事　代官迄下
但出掛米造酒屋并掛石松之者八百二下ル事
金ニ而引合ニ成候事

一 出雲清奉行迄
去年之通沖之松二格之門相納ル事

一 休日西御殿江何ニ而も献上小銅ニ而ニ候

十四日　牧野備後守

十六日　牧野備後守

一 御城出仕
一 大殿様今朝郡山江　御立被遊
献上　銭而并高田江被遊候銭而ニ而通ニ相添出小銅ニ而ニ候

一 御先供頭ニ而ニ候
殿様　上ル様ニ而ニ候
御意ニ而ニ候
但羊之皮ニ而ニ候
御先ニ而ニ候

十七日　牧野備後守

十八日　牧野備後守

一 御城出仕
一 大殿様今朝郡山江　御立被遊
献上　銭而并高田江被遊候銭而ニ而通ニ相添出小銅ニ而ニ候

一 御先供頭ニ而ニ候
殿様　上ル様ニ而ニ候
御意ニ而ニ候
但羊之皮ニ而ニ候
御先ニ而ニ候

一 殿様 ㊟ 殿様 ㊟ 殿様

一 殿様 ㊟

一 今年之夏始而 御意ニ而御礼切〳〵ニ罷出候 御手数ニ而當日御役儀ニ付 御次第書ニ而

仙小性頭

十六日 晴

一 大殿様御国ニ而 御出船 御帰着之節 御供御徒目付

十七日 晴

一 御帰宅仕

一 西御殿ニ而御用向有之 仙石左京

仙石遠江

一

十八日 休日

一 不廢極即間ニ御定義通ニ御後相濟ル紙面出ル

英漢学校
出役人中札

一 江戸表當八日ニ着込ノ飛脚
廢極左ノ通ニ而御機嫌能御座ノ旨申来ル 因而中来ル
西御殿ニ入御覧

十二月二日

一 右相當之御服明日出ル
令觸左之通御定ノ事
出府之人出門有之中
把服明日七ツ時ニ而御済之事

覚

一 [illegible]
一 八天 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 是八天 [illegible]

右 [illegible]

田中 [illegible]

十月廿六日

一 武級 [illegible]

一 武級 [illegible]

一 来ル十日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 青 [illegible]

吉和

右之通ニ

[illegible]

[illegible]

川瀬 [illegible]

[illegible]

一 御別当仕

一 西御殿ニ為伺出仕若輩

一 寺社奉行

神明境内天神ニ社有之候

殿様御代替御祈禱之節

奉幣之古社有之候

御本殿之屋根

同口四尺八寸

同 三尺

十九日 快晴

竹村十学

仙石遠江守

同口三尺
同 四尺八寸

古来より無之候

今晩第参ツ

大般若御祈禱執行候

古来より無之候

二月中

仙石遠江守

古之通御守奉差上候

仙石

但 死去之節 仰付右之相渡之 仰付之事

屬養子御法用向有之

御書之事文政 仰付候節之事

祖小泉洞雲但母
死去之節之事
若江之事倫周ま
有之候節分之事

御先祖之御位牌之事

喪服修理

一 休日

一 大殿様四時御法事 御佛前之事

一 [illegible] 西御殿之羅漢之事
何も成就之事

休日

御佛前之事

岡林芸庵

廿一日　西

仙石左兵
仙石遠江守

二　御別当仕
一　西御殿ニおゐて御茶被下候
一　寺社奉行達
左之通御勘定所ゟ申渡
一　諸役所之儀ニ付御勘定ゟ御触出候ハヽ
額面ニ対上乗ゟ触出候ハヽ
御触出之儀ニ候間

仙石兵濃守殿内
濱村安左衛門
安達伊左衛門

同浪之
親鄰寺

粮込及年来ハ有之候
法泥寺住職第中
其生寺ニ而寺ニ門前
中並百姓共ハ勿論又右一同ニ
ニ而寺前ニ而ハ
ニ候

一紙表ニ記之通ニ候

一御用向有之
而御殿ニ而何
ニ候

十二日

一御用之儀ニ付明廿三日四時
世ニ登城致ニ候
但病気ニ而ハ難勤ニ候ハ
組頭ニ而ハ

右同断申上候事

御用之節者何時
召呼出可申候

以上

寛政　年　月　日

山城又平

森嘉右衛門
同山嘉右衛門
渡辺肇
中村善助
同断
勝助

一筋別紙仕
一両御役所江同断ニ付仕小組戸白紙差
一右之通ニ　柳生宗冬領分ニ而

寛政　年　月　日

柳生主馬
（宗冬）

但
名代儀断申上候
間通ニ而宜敷
御座候　以上

寛政年中御触書之写
組頭
為心得写之

文化十三年
子三月

西宮戸

一例刻者　大旨